

1 事業概要

阪神・淡路大震災の経験と教訓を継承するとともに、いつまでも忘れることなく、安全で安心な社会づくりを期する日として、1月17日を「ひょうご安全の日」と定め、県民の参画のもと、「ひょうご安全の日」にふさわしいさまざまな事業に取り組んできた。

震災20年を迎える平成26年度は、「1.17は忘れない－『伝える』『備える』『活かす』－」をコンセプトに、県下全域で様々な事業主体において、フォーラム、シンポジウムの開催や、県民・民間団体による防災・減災活動への積極的な支援など「阪神淡路20年」事業を展開するとともに、平成27年1月17日には、阪神・淡路大震災20年追悼式典などの「ひょうご安全の日のつどい」を実施した。

1 ひょうご安全の日のつどい

実施主体：ひょうご安全の日推進県民会議

開催日：平成27年1月17日(土)

- ・1.17のつどい－阪神・淡路大震災20年追悼式典－ [11:45～12:40 兵庫県公館]
- ・1.17ひょうごメモリアルウォーク2015 [8:00～11:45 ゴール HAT神戸]
- ・交流ひろば・ステージ [10:30～15:00 HAT神戸]
- ・防災訓練 [13:00～15:00 HAT神戸]

2 地域のつどい

地域の特性を踏まえ防災訓練や講演会などを各県民局単位で実施

〔ひょうご安全の日のつどい～1・17は忘れない～〕

1.17ひょうごメモリアルウォーク2015

- ・東西2ルート6コース(ゴールHAT神戸)
- ・子ども(親子)ウォーク、帰宅訓練ウォーク(団体参加実地訓練)

参加

1.17のつどい－阪神・淡路大震災20年追悼式典－

HAT神戸会場

式典中継

県公館会場

- ・追悼の灯り ・黙祷(カリヨンの鐘)
- ・県民のこぼ(子ども達からのメッセージ)
- ・1.17ひょうご安全の日宣言 ・供花

参加

交流ひろば・ステージ、防災訓練(HAT神戸)

- ・子ども向け防災体験、防災教室・ゲーム
- ・関係機関による活動展示や炊き出し
- ・東日本大震災復興支援ブース、ミニコンサート等
- ・初期消火訓練、海上防災訓練等

～地域のつどい～

- ・尼崎市立尼崎北小学校
- ・宝塚ソリオホール
- ・宝塚市末広中央公園
- ・明石市立望海中学校
- ・明石市生涯学習センター
- ・兵庫県広域防災センター
- ・三木市自由が丘中央公園
- ・姫路市立飾磨区小瀬自治会館
- ・太子町立文化会館
- ・豊岡市民プラザ
- ・丹波市立崇広小学校
- ・篠山市立大山小学校
- ・北淡震災記念公園
- ・地域防災訓練
- ・子ども向け防災教室 等

2 1.17のつどいー阪神・淡路大震災20年追悼式典ー

阪神・淡路大震災の犠牲となられた方々への哀悼の誠を捧げるとともに、安全で安心な社会づくりに向けて歩む決意について、国内外や次世代に強く発信する「1.17のつどいー阪神・淡路大震災20年追悼式典ー」が、天皇皇后両陛下のご臨席のもと、政府代表（防災担当大臣）、衆参両議院議長、最高裁判所長官をはじめ多くのご来賓の方々に出席いただき、厳かに執り行われた。

今回は、震災20年の節目を迎えることから、ご遺族や政府関係者、復旧・復興で支援いただいた方など多くの方々に参加いただくよう兵庫県公館とH A T神戸の2会場を設け、両会場を映像でつなぐなど一体的な式典を実施した。

日 時 平成27年1月17日（土）11：45～12：40
（献花12：40～13：15）

場 所 兵庫県公館、H A T神戸（人と防災未来センター慰霊のモニュメント前）

参加人数 6,600人（公館500人、H A T 6,100人）

献花人数 2,500人（公館700人、H A T 1,800人）

【式次第】 敬称略

- ①追 悼 の 灯 り 献灯 新成人代表 兵庫県公館会場 川上 一樹
田中麻友里
H A T神戸会場 嶋田 健太
島津 悠衣
- ②献 奏 曲 曲目 G線上のアリア
指揮 佐渡 裕 兵庫県立芸術文化センター芸術監督
演奏 兵庫芸術文化センター管弦楽団
- ③開 式 の 辞 県民会議副会長 兵庫県議会議長 梶谷 忠修
- ④国 歌 斉 唱
- ⑤黙 禱 カリヨンの鐘
- ⑥式 辞 県民会議会長 兵庫県知事 井戸 敏三
- ⑦ご 来 賓 の こ と ば 防災担当大臣 山谷えり子
- ⑧ご遺族代表のこことば 遺族代表 小河 昌江
- ⑨献 唱 曲 曲目 しあわせ運べるように
合唱 兵庫県公館会場 神戸市立桂木小学校
H A T神戸会場 神戸市立なぎさ小学校
指揮 佐渡 裕 兵庫県立芸術文化センター芸術監督
演奏 兵庫芸術文化センター管弦楽団
- ⑩県 民 の こ と ば 小学生 幸島 芽生
（子ども達からのメッセージ） 中学生 池田 諒樹
高校生 吉岡 麻衣
- ⑪1.17ひょうご安全の日宣言 県民会議企画委員長 河田 恵昭
- ⑫献 唱 曲 曲目 アヴェ・ヴェルム・コルプス
合唱 神戸市混声合唱団
指揮 佐渡 裕 兵庫県立芸術文化センター芸術監督
演奏 兵庫芸術文化センター管弦楽団
- ⑬御 供 花 天皇皇后両陛下
（献 花）
閉 式

1 追悼の灯り

2会場の祭壇には、慰霊や未来への期待を込めた「追悼の灯り」が慰霊のシンボルとして設けられた。式典では、防災・減災の活動に取り組む次世代を担う若者たちが太陽光から採火した灯りを新成人代表がそれぞれ祭壇に献灯し、2会場を灯りでつないだ。



兵庫県公館会場 新成人 川上一樹さん



H A T 神戸会場 新成人 島津悠衣さん

◆採火セレモニー

追悼式典で献灯された灯りは、防災・減災活動に取り組んでいる若者たちが、震災で犠牲となられた方々への追悼や、安全安心な社会づくりを行うための決意など、それぞれの思いを込めて太陽光から灯りを採火した。

採火した灯りは、当日まで人と防災未来センターで大切に保管された後、各会場へ届けられ、新成人代表が祭壇に献灯した。この模様は、追悼式典会場の大型画面で映像により紹介された。

採火セレモニー

平成27年1月10日(土) 12:30~12:45

場 所：人と防災未来センター

慰霊のモニュメント前

メッセージ：兵庫県立大学 嶋田健太さん

神戸女学院大学 田中麻友里さん

参 加 者：災害メモリアルKobe参加者



2 献奏曲

- ・演奏 兵庫芸術文化センター管弦楽団
- ・指揮 佐渡 裕 兵庫県立芸術文化センター芸術監督

開式に先立ち、御霊の安らかならんことを祈念し、佐渡裕兵庫県立芸術文化センター芸術監督の指揮のもと兵庫芸術文化センター管弦楽団が、献奏曲 バッハの「G線上のアリア」を捧げた。



兵庫芸術文化センター管弦楽団

◆祭壇

県公館会場では、震災で亡くなられた方々への慰霊の誠を捧げるため、祭壇に犠牲者名簿を奉呈し追悼の灯りを灯した。

祭壇デザインは、犠牲となられた方々への追悼の誠を捧げるとともに、震災の経験と教訓を未来へつなぎ、安全安心な社会づくりをめざすイメージを表現した。



【祭壇のテーマ『1.17は忘れない』】

祭壇中央の青い『円』は、犠牲となられた6,400余名の御霊を表し、御霊の周りの白と緑の『円』は、554万兵庫県民を表し、中央の御霊を温かく見守っている。

両サイドの20の階段は、震災からの復旧復興に一步一步進めてきたこれまでの歩みを表現している。

3 開式の辞

本日、天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、多くのご参列の皆さまとともに、「1.17のつどい ー阪神・淡路大震災20年追悼式典ー」を開催できますことを、ひょうご安全の日推進県民会議を代表して、心より感謝申し上げます。

あの未曾有の被害をもたらした阪神・淡路大震災から20年を迎えました。

震災から学んだ教訓を忘れることなく、内外に広く発信し、後世に伝えることこそ震災を経験した私たちの責務です。また、今後の災害に備えて官民一体となった防災・減災対策を講じていかなければなりません。

ここに、震災で犠牲となられた方の尊い御霊に対し、心から哀悼の誠を捧げますとともに、安全で安心な社会の実現に向け、さらなる努力を続けてまいりますことをお誓い申し上げ、ただ今から「追悼式典」を開会いたします。

平成27年1月17日

ひょうご安全の日推進県民会議 副会長
兵庫県議会議長 梶 谷 忠 修

4 国歌斉唱

5 黙祷

阪神・淡路大震災の犠牲となられた方々の御霊の安らかならんことを願い、正午にH A T神戸会場のカリヨンの鐘にあわせて黙祷を捧げた。

H A T神戸会場のカリヨンの鐘は、神戸市立なぎさ小学校と宮城県七ヶ浜町の3小学校（汐見、^{えきらく}亦楽、松ヶ浜）の生徒が鳴鐘した。



兵庫県公館会場（国歌斉唱）



H A T神戸会場（黙祷）



「カリヨンの鐘」鳴鐘（黙祷）

阪神・淡路大震災から、20年の歳月^{としつき}が経過しました。

明日を信じ、お互いを支え合いながら、復旧復興へと歩み続けてきたこの20年は、長いようにも、瞬く間であったようにも感じられます。

本日、ここに天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、御遺族並びに政府代表・防災担当大臣、衆議院議長、参議院議長、最高裁判所長官をはじめ、多くの御来賓の皆様にご出席をいただき、「阪神・淡路大震災20年追悼式典」を執り行うことができますこと、心から感謝します。

亡くなられた方々に心から哀悼の誠を捧げつつ、悲しみを胸に、幾多の苦難を乗り越え、まちの復興や生活の再建に真摯に取り組んでこられた被災者の皆様に、改めて敬意を表します。また、この間の復旧復興に御支援いただいた内外の皆様に心からお礼を申し上げます。

阪神・淡路大震災は、未曾有の被害とともに、成長から成熟へと向かう大都市の問題点を浮き彫りにしました。特に、高齢化社会を先取りした対策を必要としました。

私たちは、単なる復旧ではなく、21世紀を見据えた創造的復興をめざし、内外からの温かい支援を支えに、県民一丸となって、懸命の努力を重ねてきました。

その過程では、高齢者の見守り体制やこころのケア、ボランティア活動への支援といった先導的な取り組みや、阪神・淡路大震災復興基金、被災者生活再建支援制度、住宅再建共済制度など、被災地の実情に即した新たな仕組みが生まれました。

こうした経験と教訓は、内外の被災地復興に生かされています。

10年の節目には、国際的な防災指針「兵庫行動枠組」の策定や国連防災復興協力機構の設立など、国際的な協力体制が構築され、中国四川大地震や一昨年前のフィリピン台風などで成果を発揮しました。

東日本大震災では、関西広域連合によるカウンターパート方式の支援が功を奏しました。今も、県市町職員や専門家の方々をはじめ、ボランティアの皆様が、被災者に寄り添った支援を続けています。

一方、時間の経過とともに、震災の記憶の風化が懸念されています。高齢者の自立支援やまちのにぎわいづくりなどの課題も残されています。

また昨年には、丹波市や広島市で甚大な被害をもたらした8月豪雨災害をはじめ、9月の御嶽山の噴火、11月の長野県北部地震など各地で自然災害が猛威を振るいました。南海トラフ巨大地震の発生も危惧されています。

今こそ、私たちの経験と教訓を未来へと伝え、被害を最小化する減災社会を実現していかなければなりません。それこそが被災地兵庫の責務であり、犠牲になられた方々に報いる道なのです。

昨年4月から1年間、「伝える」「備える」「活かす」をテーマに、県民総参加で多彩な事業を展

開し、兵庫に根付いた災害文化を世代や地域を越えて発信しています。

また、次なる災害に備え、建物の耐震化など地震対策、防潮堤の強化など津波対策、地域での実践的な防災訓練、治山・砂防の推進など、自助、共助、公助を組み合わせた防災・減災対策を進めます。

この3月には仙台で第3回国連防災世界会議が開催されます。兵庫行動枠組の取り組みを評価検証し、その成果を広く発信していきます。

震災から20年。私たちは、新たなステージを迎えています。人口減少対策や東京一極集中の是正などの課題に対し、震災を乗り越えてきた力を再び結集して、今後の新時代の兵庫、安全で安心でき、活力あるふるさと兵庫を築いていかなばなりません。

「1.17は忘れない」。今日、この言葉を改めて心に刻み、これまでの復興の歩みを礎に、安全安心なふるさと兵庫の実現に向けて、全力で取り組んでいくことをお誓いし、式辞といたします。

平成27年1月17日

ひょうご安全の日推進県民会議 会長
兵庫県議会議長 井戸 敏三



式辞（井戸兵庫県知事）

7 | ご来賓のことば

本日ここに、「阪神・淡路大震災20年追悼式典」が執り行われるにあたり、政府を代表いたしまして、謹んで追悼の言葉を捧げます。

6,400名を超える尊い命を奪い、この地に未曾有の被害をもたらした阪神・淡路大震災の発生から20年の月日が経過いたしました。この震災により亡くなられた方々の無念さと、最愛の肉親を失われた御遺族の方々の深い悲しみに思いを致しますと、誠に痛恨の極みであり、哀惜の念に堪えません。ここに改めて、犠牲となられた方々とその御遺族に対し、心から哀悼の意を表するものであります。

阪神・淡路地域では、この20年の間に、住民やボランティアの方々、地元の地方公共団体などが一体となって、目ざましい復興が図られたところであります。これまでの多くの皆様の御尽力に対し、心より敬意を表します。

また、10年の節目を迎えた平成17年には、この神戸で国際的な防災の取組指針である「兵庫行動枠組」が策定され、本年3月には、その更なる深化のために、仙台で国連防災世界会議が開催されることとなっております。

このような新しい取り組みも進められておりますが、御高齢となられた被災者の方々の生活を支援し、この地域を活性化させていくためには、これからも、関係機関が十分に連携し、努めていかなければならないと考えております。

政府といたしましては、今後とも必要な取り組みを推進するとともに、近年、災害が大規模になり、また、頻発する中で、この震災の経験と教訓をしっかりと継承し、国民の皆様の生命、財産、生活を守り、安心して暮らせる社会の実現に全力を挙げてまいりますことを、固くお誓い申し上げます。

そして、阪神・淡路地域が、より一層、安全で住みよい、魅力ある地域へと発展されますことを切に願っております。

最後に、犠牲となられた方々の御冥福をお祈りいたしますとともに、御遺族の皆様方に心よりお悔やみを申し上げて、追悼の言葉といたします。

平成27年1月17日

内閣府防災担当大臣 山 谷 えり子



ご来賓のことば（山谷防災担当大臣）

8 | ご遺族代表のことは

本日ここに天皇皇后両陛下御臨席のもと、「1.17のつどいー阪神・淡路大震災20年追悼式典ー」が厳粛に執り行われ、御来賓の皆様方から丁寧な追悼のお言葉を賜りましたことに遺族を代表して心からお礼申し上げます。

最後に母に会ったのは初詣でした。そこでひいたおみくじの凶の文字に母は青ざめ、私は慌てて「そんな時はもう1回ひいたらええねんて」、そう口から出まかせを言いました。2週間後の大震災も母の死もあのおみくじのせいではない、頭ではわかっています。でも20年経った今でも私はおみくじをひく事ができずにいます。

あの震災の日すぐに駆け付けた時、母の住むアパートはがれきの山と化し、私はその光景に震え、立ちつくす事しかできずにいました。そんな私を見かね、近くの工務店の寮生達が繰り返す余震の中、何度もがれきの下、深い暗闇へともぐり、家の梁の下敷きになっている母を懸命に救出してくれました。「お母さん！お母さん！」呼んでも母は応えません。その場に漂う重い沈黙の意味に目を背け、「病院に連れて行って下さい」、そう彼らに懇願し彼らはあの混乱した大渋滞の中、母を病院へと運んでくれました。

その出来事を反芻するうち、私は最近になって、あの日救われたのは母だけでなく、私自身もまた彼らに救われたのだと感じ始めました。病院到着後すぐに医師は母の死を告げ、私はそこでやっと母の死を理解しました。しかし、もしあの時がれきの中から母を救い出すことなく、また一筋の希望を持って病院に行くことが叶わなければ、私は後々何もできなかった自分を繰り返し責めたことでしょう。私が自責の念に押しつぶされることなくその後を歩んでこれたのは、彼らがあの状況の中、できうる限りのことを、母にそして私にしてくれたおかげだと思います。震災の光景は決して忘れることはないでしょう。しかし、悪い状況の中にも温かい出会いがあり、それは私の心をいつまでも温めてくれます。決して忘れることのない記憶と寄り添いながらも、今日の1日がまた無事に終わっていくことに感謝の念を持ちまた明日を迎えたい、そう思います。

最後に亡くなられた皆様の御冥福を心よりお祈り致します。

平成27年1月17日

遺族代表 小 河 昌 江



ご遺族代表のことは（小河昌江さん）

9 献唱曲

合唱 兵庫県公館会場 神戸市立桂木小学校
H A T 神戸会場 神戸市立なぎさ小学校、宮城県七ヶ浜町3小学校（汐見、亦楽、松ヶ浜）
演奏 兵庫芸術文化センター管弦楽団
指揮 佐渡 裕 兵庫県立芸術文化センター芸術監督

兵庫県公館会場では神戸市立桂木小学校、H A T 神戸会場では神戸市立なぎさ小学校と宮城県七ヶ浜町の3小学校が、被災地の復興に向けた希望のハーモニー「しあわせ運べるように」を献唱した。



神戸市立桂木小学校



神戸市立なぎさ小学校
宮城県七ヶ浜町の3小学校（汐見、亦楽、松ヶ浜）

10 県民のことは

■小学生部門

「震災が教えてくれたこと」

愛徳学園小学校5年 幸島 芽生

私の父は、神戸で被災し、家を失い近くの小学校で避難生活をしました。寒い冬の辛さを救ってくれたのが多くの人の心の温かさだったそうです。

父が見せてくれた震災当時の神戸の街並みの写真は、私が知っている神戸とは全然違ったのでとても驚き、震災の恐ろしさを知りました。父は、「当時がどのような状況であったのか忘れてはいけない。今の神戸は、たくさんの命の犠牲の代わりに生まれ変わった」のだと教えてくれました。

神戸の街は、たくさんの温かい命の息吹により蘇ることが出来たのだと思います。その街で生きていることに私は喜びを感じます。かけがえのない命、そして人の温もりの大切さを忘れません。

■中学生部門

「忘れてはいけない」

神戸市立湊川中学校3年 池田 諒樹

「忘れてはいけない。」被災された人は口を揃えて言いますが、「悲しいことなら忘れてしまえばいいのに」と思ったりもします。震災は人の過ちから起きるのではなく、人は自然には勝てません。大切な人を目の前で失った人に「忘れてしまえばいい。」とは言えないでしょう。亡くなった人は残された人の心で生き続けます。忘れるということは、それを否定することでしょう。忘れないことで、大切な人との別れ、震災の恐ろしさと向きあっているのかもしれませんが。ならば僕達も向きあうべきです。もっと震災の恐ろしさを知り、語り継がなければなりません。若い世代が風化させてはいけないのです。

■高校生部門

「つなぐ命、つなぐ思い」

兵庫県立舞子高等学校3年 吉岡 麻衣

人々の大切なものを奪っていった阪神・淡路大震災。私はあの日を経験していない。そして今、私は高校で防災を学んでいる。

母にあの日の事を尋ねると「本当は話したくない。でも伝えないと」と言い、20年経った今でも心の傷は消えないのだと知った。胸が痛かった。

母以外にも被災された方のお話を聞かせて頂くことがある。話すことで辛いことや悲しいことを思い出してしまうだろう。それでもお話しして下さるのは、あの日を忘れないでほしい、教訓を伝えてほしいという強い思いがあるからだ。

私は、その思いをしっかりと受け止め、震災を知らない世代に伝え続けていく。いつか来る大震災を乗り越え、大切な命をつなぐために。



3人揃って祭壇に一礼



幸島芽生さんの発表



池田諒樹さんの発表



吉岡麻衣さんの発表

11 1. 17ひょうご安全の日宣言

阪神・淡路大震災から20年が経った
私たちは この震災を経験しなかった人たちにも
これからの災害に対して 私たちの教訓を活かしてほしい
そう願って 伝え続けてきた

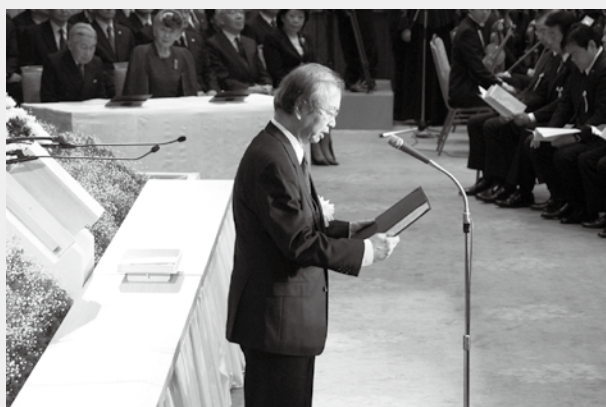
でも 実際に経験しない限り 災害の教訓は他人事になっている
こんなにも 地球温暖化が進み 天変は増え
地球激動期が続き 地変も増え続ける
荒ぶる地球の至るところで 新たな災害が起こり始めている

東日本大震災の本格的復興が ようやく始まった
しかし 災害の多発・激化は わが国全体をおおっている
思わぬ季節に大雪が降って まちが孤立し
思わぬ地域に大雨が降り 川があふれ 山がすべる
眠り続けているはずの火山が噴火し 忘れかけていた活断層が地震を起こす
防災・減災の努力が積み重なっても さまざまな災害が襲ってくる

進行する高齢化や人口減少
そして 止まらない東京一極集中と地方衰退
地域防災力はまだまだ不足している
でも 国土の安全の取り組みは 減災社会につながる希望だ
災害による被害を小さくし しなやかに対応して 回復を早める
自助・共助・公助の組み合わせで実現できるはずだ

こんな時こそ 震災の教訓の出番だ
私たちの社会が 災害に負けず 持続的に発展するために
伝える 備える 活かす 阪神・淡路大震災の教訓を実践しよう
震災の教訓は 安全・安心な社会につながる知恵だから

2015年1月17日
ひょうご安全の日推進県民会議



河田県民会議企画委員長

12 献唱曲

合唱 神戸市混声合唱団
演奏 兵庫芸術文化センター管弦楽団
指揮 佐渡 裕 兵庫県立芸術文化センター芸術監督

兵庫県公館会場において、神戸市混声合唱団が、献唱曲「アヴェ・ヴェルム・コルプス」を捧げた。



神戸市混声合唱団

13 御供花・献花

御霊前に献花し、犠牲となられた幾多の尊い御霊の安らかならんことをお祈りした。



天皇皇后両陛下による御供花



献花（兵庫県公館会場）



献花（HAT神戸会場）

14 記帳所

震災で犠牲となられた方々への追悼の意を表することができるよう、両追悼式典会場等に記帳所を設置し、2,500件の記帳が寄せられた。



記帳所（兵庫県公館会場）



神戸市立生田中学校



記帳所（H A T 神戸会場）

3 防災関係者からの活動御聴取

天皇皇后両陛下は、追悼式典への御参列の後、防災・減災活動の実践者から活動内容をご聴取された。

日 時 平成27年1月17日(土) 12:46～13:01
場 所 兵庫県公館3階 第1会議室
概 要 活動内容をまとめたパネルにより説明

〔説明者及び説明内容〕

説明者	説明内容
兵庫県立舞子高等学校 環境防災科3年生 成尾春樹さん 大西莉加さん	・環境防災科の取組み（防災に関する学習、東日本大震災被災地でのボランティア活動、「全国防災ミーティング」での先導的取組み等） ・小学校への出前授業や地域での防災訓練等の校外活動 など
兵庫県立大学工学部 機械システム工学科3回生 井上幹太さん	・同大学防災教育センターの取組み（専門家を招いた講義、東日本大震災被災地への学生ボランティア派遣等） ・学生災害復興支援団体L A Nの活動（相馬市等での農業支援活動等）
一般社団法人 兵庫県音楽療法士会理事長 松崎聡子さん	・兵庫県音楽療法士会の経緯 ・会員数（平成14年以降315名認定、232名が活動） ・活動内容（東日本大震災被災地の幼稚園や仮設住宅での活動、兵庫県への避難者を対象としたコンサート等）
兵庫県園芸療法士会副会長 上地あさひさん	・園芸療法の概要 ・会員数（平成14年に県立淡路景観園芸学校に園芸療法課程開設以来152名認定、114名が活動） ・活動内容（東日本大震災被災地の仮設住宅での体験プログラム、兵庫県への避難者を対象とした園芸療法等）



防災関係者からの活動御聴取

4 1.17ひょうごメモリアルウォーク2015

阪神・淡路大震災発生時の追体験を行い、風化しがちな防災意識を新たにするとともに、来るべき災害に備えるため、下記のそれぞれの出発地から震災モニュメントを巡りながら緊急時の避難路、救援路として整備されている山手幹線等を追悼式典会場の一つでもあるH A T神戸まで歩いた。

コースは、東ルートとして、西宮市役所（西宮市）からの15キロコース、芦屋市川西運動場（芦屋市）からの10キロコース、王子公園（神戸市灘区）からの2キロコース、西ルートとして、須磨海浜公園（神戸市須磨区）からの15キロコース、県立文化体育館（神戸市長田区）からの10キロコース、神戸市立中央体育館（神戸市中央区）からの5キロコースの6つのコースで行った。

西5キロコースでは、震災20年にあたり、震災を経験していない子どもとその親を対象に、親子で楽しみながら震災や防災を学ぶ「子ども（親子）ウォーク」を新たに実施した。

併せて、事業所、学校等の団体が、災害時の徒歩帰宅を想定して、それぞれの事業所や学校からH A T神戸を目指す「帰宅訓練ウォーク」も実施した。

〔ウォーク内容〕

区 分			出発	スタート地点	参加者数
一般 ウォーク	東ルート	15kmコース	8：00	西宮市役所	1,100人
		10kmコース	8：30	芦屋市川西運動場	1,100人
		2kmコース	11：00	王子公園	900人
	西ルート	15kmコース	8：00	須磨海浜公園	600人
		10kmコース	8：30	県立文化体育館	500人
		5kmコース	9：00	神戸市立中央体育館	900人
子ども（親子）ウォーク			9：00	同上	400人
帰宅訓練ウォーク			各自設定	各事業所・学校	400人
計					5,900人

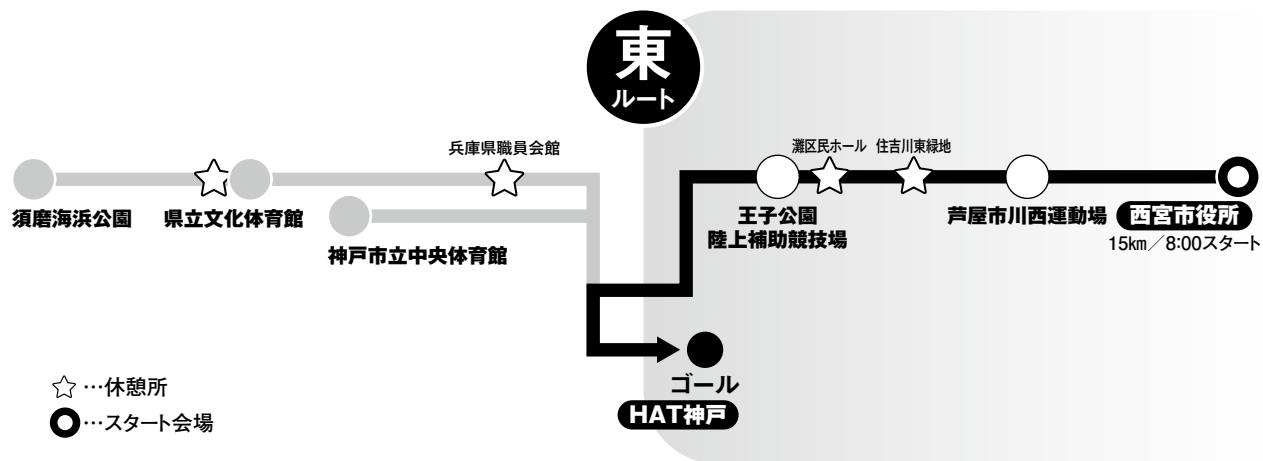


西ルートH A T神戸ゴール付近



参加者に配布されたゼッケンシール

1 東ルート・15キロコース（西宮市役所出発）



今村西宮市長のスタート宣言を合図に、約1,100人が西宮市役所を出発した。



スタート宣言



みんなで準備運動

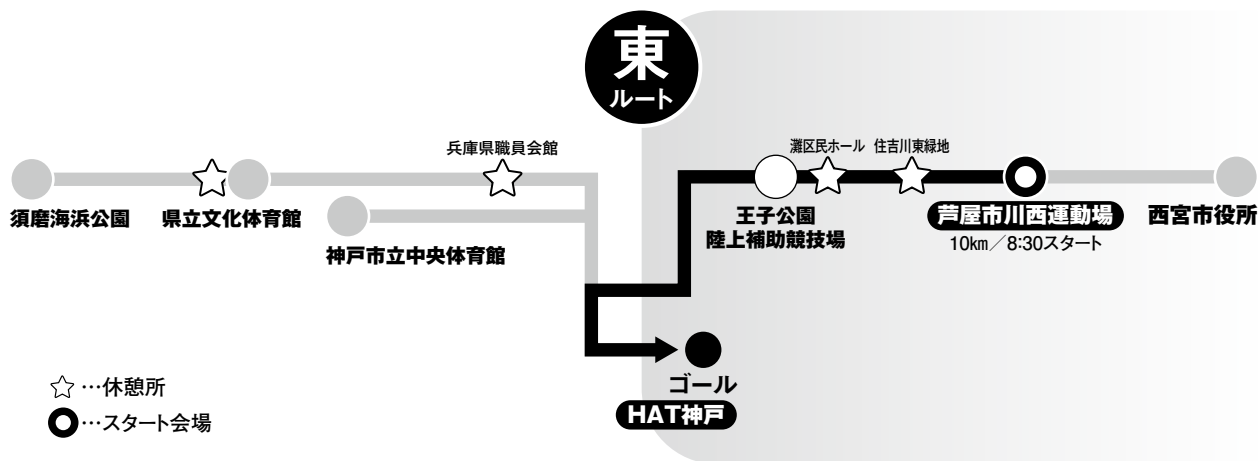


西宮市役所前出発直後



西宮市役所前

2 東ルート・10キロコース（芦屋市川西運動場出発）



山中芦屋市長のスタート宣言を合図に、約1,100人が川西運動場を出発した。



スタート宣言



芦屋会場出発直後

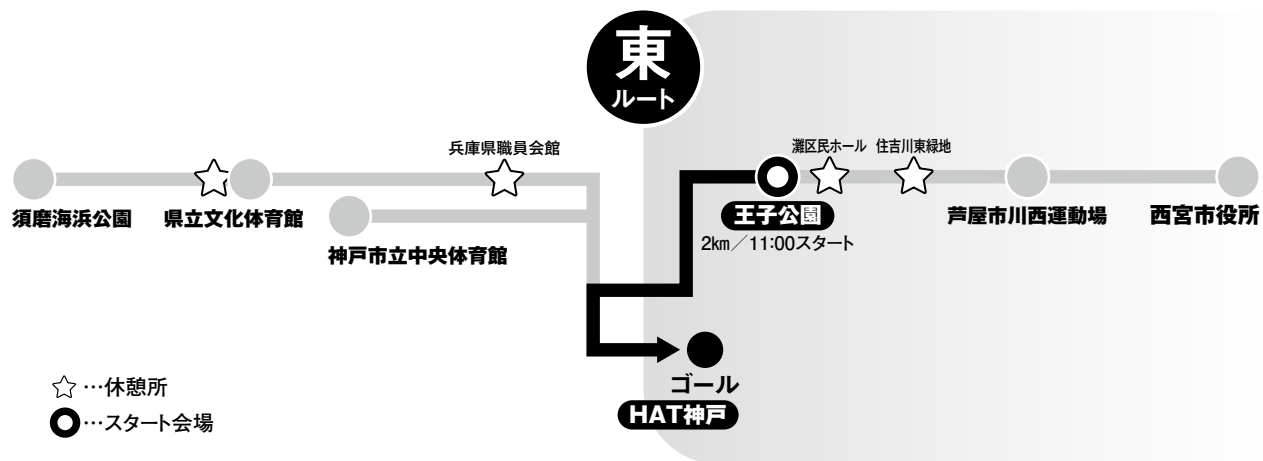


住吉川東緑地（第1休憩所）



瀨区民ホール（第2休憩所）

3 東ルート・2キロコース（王子公園出発）



西村神戸県税事務所長のスタート宣言を合図に、約900人が王子公園を出発した。



ミュージアムロード JR 灘駅北付近①



ミュージアムロード JR 灘駅北付近②

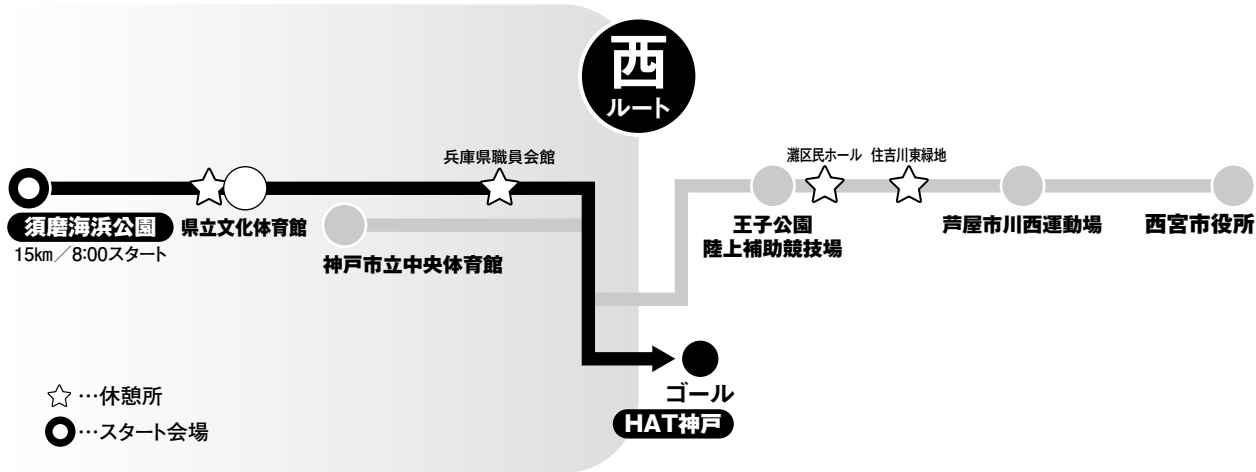


ミュージアムロード JR 灘駅南



ミュージアムロード BBプラザ前

4 西ルート・15キロコース（須磨海浜公園出発）



太田神戸県民センター長のスタート宣言を合図に、約600人が須磨海浜公園を出発した。



受付の様子



スタート宣言

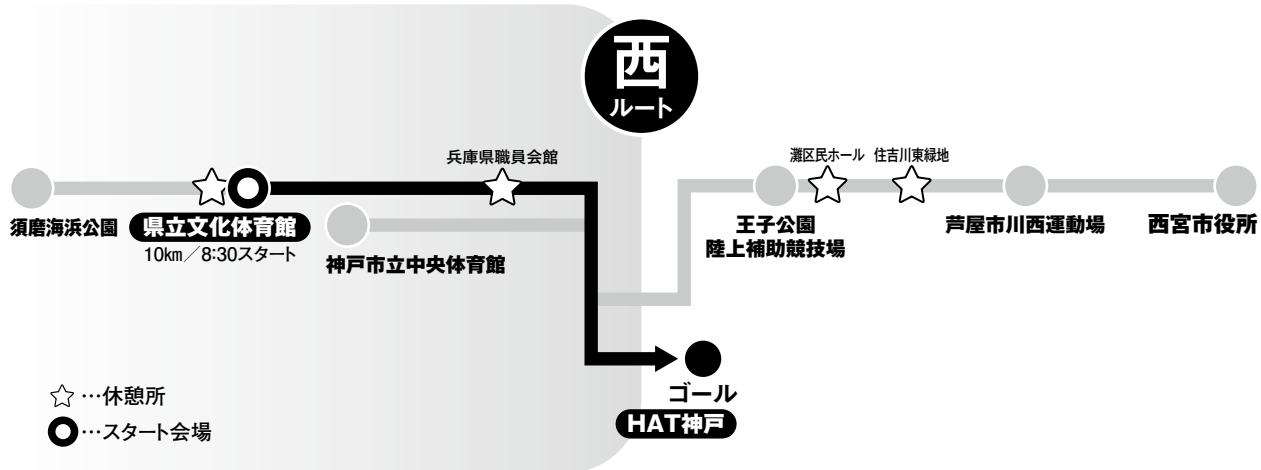


須磨水族園駐車場前



山手幹線湊川～大倉山付近

5 | 西ルート・10キロコース（県立文化体育館出発）



畠神戸県民センター県民交流室長のスタート宣言を合図に、約500人が県立文化体育館を出発した。



出発式



県立体育館スタート直後①

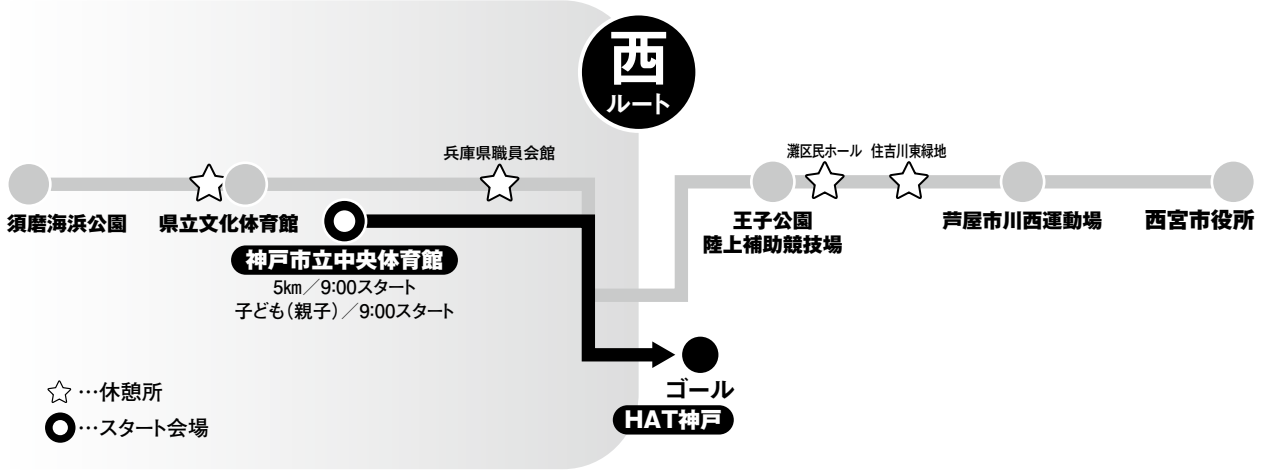


県立体育館スタート直後②



県立文化体育館（休憩所）

6 西ルート・5キロコース (神戸市立中央体育館出発)



広瀬神戸市危機管理監のスタート宣言を合図に、一般ウォーク約900人、子ども(親子)ウォーク約400人の合計約1,300人が神戸市立中央体育館を出発した。



子ども(親子)ウォークの受付



スタート宣言



スタート直後



神戸市立中央体育館西側歩道

7 帰宅訓練コース

生活協同組合コープこうべ第3地区や春日日本語学院など10団体の約400人が、それぞれの事業所や学校からゴールのH A T神戸を目指して出発した。途中、災害時帰宅支援ステーション（コンビニ等）で地域の安全情報、位置情報及び交通機関の運行情報の提供を受け、災害時伝言ダイヤルを使って、安否状況を家族、事業所及び学校に連絡する訓練を実施した。



災害時帰宅支援ステーション（コンビニ等）前を歩く
帰宅訓練コースの参加者①



災害時帰宅支援ステーション（コンビニ等）前を歩く
帰宅訓練コースの参加者②



災害時帰宅支援ステーション（コンビニ等）前を歩く
帰宅訓練コースの参加者③

8 平成26年度防災力強化県民運動「ポスターコンクール」受賞作品の展示

阪神・淡路大震災20年の節目にあたり、防災意識の高揚を図るため、東ルート休憩所の灘区民ホール及び西ルート休憩所の兵庫県職員会館において、防災をテーマに描かれた小・中・高校生の作品を展示した。



東ルート灘区民ホール①



東ルート灘区民ホール②



西ルート兵庫県職員会館

5 交流ひろば・ステージ・防災訓練等

HAT神戸会場においては、関係機関やNPO、ボランティアグループ等による活動展示や炊き出し、子供たちを対象にした防災体験、防災教室など、県民同士の交流や防災意識の向上、次世代への教訓の伝承を図る場とした。

また、震災20年の節目にあたり、次代を担う子ども達に震災の経験・教訓を伝え、防災・減災を体験してもらうため、新たに「子ども防災ひろば」を開設した。

1 交流ひろば

「伝える」「備える」「活かす」のゾーンに区分し、参加者に分かりやすい展示・配列とした。

時 間 10:30~15:30

場 所 HAT神戸・なぎさ公園（神戸市中央区脇浜海岸通）

内 容

- ・関係機関、団体、企業による展示・体験

〔フェニックス共済、全労済、耐震改修、食料品備蓄、災害伝言ダイヤル、インフラ・電気・ガスの防災対策、災害用トイレ、炊き出し、ごはん食の普及 等〕

- ・阪神・淡路大震災の経験・教訓を発信する展示

〔震災体験継承事業「減災グッズ」、災害時の食や健康、DMAT、災害対策車 等〕

- ・東日本の名産等物産の販売、観光地のPR等

〔東北6県の観光PR、東日本大震災被災市町応援ブース、シンサイミライノハナ（東日本大震災被災地へのメッセージ）、アートプロジェクト「元気のぼり」、災害ボランティア活動、震災・学校支援チーム（EARTH） 等〕

- ・ボランティアグループ等による炊き出し など



会場レイアウト

〔HAT神戸会場マップ〕



人と防災未来センター
(西館)

1.17の
11:45~

神鋼造機(株)
E 近畿地方整備局
兵庫国道事務所

ドクターカー

DMATカー

起震車

移動
電源車

6

照明車

災害対策
本部車

高機動

F 兵庫県災害
医療センター

NPO法人
Co.to.hana

兵庫県災害対策課

ウォークゴール

1

38

24

A

兵庫県
障害者支援課

B

近畿地方整備局

7

神戸地方気象台

8

近畿農政局

9

兵庫県LPガス協会

10

日産プリンス兵庫販売

11

1 兵庫県住宅再建共済基金

2 全労済兵庫県本部

3 兵庫県建築指導課

4 兵庫県建築士会

12 大阪ガス

不二ラテックス

5

18

19

20

21

22

車

WC

37

新宮 晋アートプロジェクト
「元気のほり」

東北支援

移動無線
基地局車

NTT
衛星車

ドコモCS関西

NTT西日本

関西電力

江崎グリコ

15

16

17

本

部

救護

6

ゴール

29

ここ豊かな人づくり
神戸500人委員会
阪の浜ふれあいまちづく
なぎさふれ

33 陸上自衛隊
第36普通科連隊

自衛 隊車

シンク

25

イオンリテール(株)
パルーンシェルター

3

東北6県(青森・岩手・秋田・宮城・山形・福島)

福島県立福島商業高等学校
福島県立福島明成高等学校

兵庫県復興支援課
べこっこMaMa

気仙沼まただいん

47 46 45 44 43

日本赤十字
dERU車同
日本赤十字
dERU車同

日本赤十字社
兵庫県支部

日赤救急車

日赤通信
指令車

2

防災訓練

第五管区海上
保安本部

訓練指揮所

消防艇「くすのき」

〔交流ひろば出展者一覧〕

住まいの安心	1	(公財)兵庫県住宅再建共済基金	兵庫県住宅再建共済制度(フェニックス共済)のPR
	2	全労済兵庫県本部	防災・減災 標語コンテストPR
	3	兵庫県建築指導課	「わが家の耐震改修促進事業」のご案内
	4	(公社)兵庫県建築士会	わが家の耐震診断
	5	不二ラテックス(株)精密機器本部	「家具転倒防止器具・不動王シリーズ」の普及活動
暮らしを守る	6	神鋼造機(株)	被災地に電気を届ける移動電源車
	7	近畿地方整備局	防災・減災に向けた近畿地方整備局の取り組み
	8	神戸地方気象台	命を守るために知って欲しい「特別警報」
	9	近畿農政局 神戸地域センター	緊急時に備えた、家庭用食料品備蓄を
	10	(一社)兵庫県LPガス協会	1月17日はLPガス減災の日
	11	日産プリンス兵庫販売(株)	リーフtoホーム EVパワーステーション
	12	大阪ガス(株)	大阪ガスの安心・安全の取り組み
	13	(株)ドコモCS関西 神戸支店	ドコモの災害対策に対する紹介・PR
	14	西日本電信電話(株)兵庫支店	『災害伝言ダイヤル 体験利用』
	15	関西電力(株) 神戸支店	関西電力の防災対策
	16	江崎グリコ(株)	すぐ食べられる防災備蓄食糧
	17	(公財)高知県産業振興センター	メイド・イン高知の防災関連製品
	18	神戸地方方法務局	国民の権利と財産を守るための取組
	19	兵庫県消費者団体連絡協議会	あの日のぬくもりを忘れない～1.17おにぎりであつなぐ絆～
	20	ごはんを食べよう国民運動推進協議会 おいしいごはんを食べよう県民運動推進協議会	ごはん食の普及啓発
	21	公益社団法人兵庫県歯科衛生士会	災害時における口腔の管理
	22	公益社団法人兵庫県栄養士会	「食べることは生きること、災害時における食の大切さを知る」 ～兵庫県栄養士会災害支援チーム JDA-DATHyougoの活動
	23	モダンシニアファッションショー 「シニアと高校生、ともに創ろう減災グッズ」実行委員会	震災体験継承事業 「シニアと高校生、ともに創ろう減災グッズinかけはしカフェ」～
	24	兵庫県災害対策課	災害用トイレの展示
	25	イオンリテール(株)近畿・北陸カンパニー	イオングループの防災への取組み
	26	震災教訓発信ラジオ実行委員会	ラジオで発信ひょうご安全の日のつどい
助け合い	27	震災20年・兵庫JCC記念大会等開催事業実行委員会	1.17を忘れない
	28	(一社)兵庫県宅地建物取引業協会 神戸東支部	災害に備えて！炊き出し訓練&防災啓発活動
	29	こころ豊かな人づくり 神戸500人委員会	神戸500人委員会 がんばれニッポン応援「炊出し500人鍋」
	30	脇の浜ふれあいまちづくり協議会	炊き出し(たこ焼き、焼きそば、フランクフルト等)
	31	なぎさふれあいのまちづくり協議会 灘防犯協会なぎさ支部	炊き出し(たこ焼き、甘酒、おでん等)
	32	HAT神戸脇浜自治会	お好み焼き、まき寿し、フライドポテト
	33	陸上自衛隊 第36普通科連隊	覚悟と率先
	34	いきいきネットワーク	「ひょうご安全の日のつどい」炊き出し
	35	兵庫県赤十字奉仕団	赤十字まごころサービス
	36	社会貢献学会	防災と炊き出し

東日本を応援	37	元気のぼり展示(兵庫県復興支援課)	アートプロジェクト「元気のぼり」
	38	(特非) Co.to.hana	シンサイミライノハナPROJECT
	39	(特非) 兵庫セルフセンター	障害がある人の働く願いを社会につなげます
	40	兵庫県協働推進室 ひょうごボランティアプラザ	災害ボランティア活動紹介
	41	兵庫県教育委員会事務局教育企画課 震災・学校支援チーム (EARTH)	震災・学校支援チーム (EARTH) の取組
	42	神戸学院大学	明日へつなげよう！ 備えよう！
	43	福島県立福島商業高等学校 福島県立福島明成高等学校	みらいっぽ (未来一歩) 食堂
	44	東北6県(青森・岩手・秋田・宮城・山形・福島)	東北6県の観光PR
	45	兵庫県復興支援課	東日本大震災被災市町応援ブース
	46	べこっこMaMa	べこっこMaMaによるジャムや雑貨の販売
学体 が験・	47	気仙沼まただいん	東日本大震災復興支援
	48	陸上自衛隊 第3後方支援連隊	和と備え(足湯)
	49	ボーアイ4大学連携推進センター	災害に備えて！～今わたしたちにできること～
防災最前線	A	兵庫県立聴覚障害者情報センター(兵庫県障害者支援課)	聴覚障害者への情報提供・コミュニケーション保障
	B	自衛隊兵庫地方協力本部 海上自衛隊阪神基地隊	自衛隊の災害派遣活動等災害時に役に立つロープワーク
	C	陸上自衛隊 第36普通科連隊	覚悟と率先
	D	神戸市消防局	災害に備える 津波・大規模風水害対策車(水陸両用バギー車含む)の展示 「スーパーイーグルこうべ」及び「HAZ-MAT KOBE」の車両展示 消防艇の一般公開
	E	国土交通省 近畿地方整備局 兵庫国道事務所	災害対策本部車・照明車の展示
	F	兵庫県災害医療センター	ドクターカー DMATカーの展示
	G	兵庫県立大学地域ケア開発研究所・大学院看護学研究科	日々の生活でも、災害時でも、役立つ健康体操をしましょう!!! ー阪神淡路大震災後、20年間の知恵袋ー
	H	公益社団法人兵庫県看護協会	応急救護体験
	I	日本赤十字社兵庫県支部	国内型緊急対応ユニット(dERU)の展示とAED・心肺蘇生・訓練等
	J	第五管区海上保安本部	海上保安庁の災害対策・巡視艇の一般公開
子ども防災ひろば	子①②	NPO法人 プラス・アーツ	イザ！カエルキャラバン！
	子③④	NPO法人 プラス・アーツ	レッドベア・サバイバルキャンプ
	子⑤	NPO法人日本レスキュー協会	災害レスキュー犬の紹介、実演
	子⑥	神戸クロスロード研究会	防災ゲーム「クロスロード」体験
	子⑦	神戸学院大学	防災学習ワークショップ
	子⑧	兵庫県立舞子高校環境防災科	防災学習ワークショップ
	子⑨	人と防災未来センター	防災啓発
	子⑩	NPO法人さくらネット	1.17防災未来賞「ぼうさい甲子園」10周年
	子⑪	アトリエ太陽の子	東北支援「命の一本桜」プロジェクト
	子⑫	兵庫県レクリエーション協会	防災遊び体験
	子⑬	ひまわりの夢企画	防災楽習迷路、防災腹話術
	子⑭	(株)ラジオ関西	みーんな元気！QQ体操
	子⑮	JICA緊急援助隊	活動紹介、特設テント展示
	子⑯	防災ジャパングプロジェクト	防災啓発人形劇「3匹のこぶた危機一髪！」(JICA屋内)
	子⑰	裏千家淡交会神戸第一青年部	茶道体験(復興ボランティア)(JICA屋内)
	子⑱	思いをつなぐ 命をつなぐ木	東北被災地応援メッセージ(JICA屋内)

〔交流ひろばにおけるブース展示等〕



兵庫県栄養士会災害支援チーム活動展示



みらいっば（未来一步）食堂（福島県）



（公社）兵庫県看護協会展示ブース



元気のぼり展示

2 子ども防災ひろば

阪神・淡路大震災を踏まえて始まった防災教育、防災活動などの取組みを紹介、体験する子ども防災ひろばを実施した。

時 間 10:30～15:30

場 所 HAT神戸・JICA関西（神戸市中央区脇浜海岸通）

内 容

- ・防災学習（県立舞子高校環境防災科、神戸学院大学防災・社会貢献ユニット）
- ・防災体験プログラム「イザ！カエルキャラバン」、防災カードゲーム「クロスロード」、防災楽習迷路など防災ゲーム
- ・みーんな元気！QQ体操（ラジオ関西）、防災啓発人形劇「3匹のこぶた危機一髪！」（損保ジャパン日本興亜）
- ・1.17防災未来賞「ぼうさい甲子園」10年間の受賞校の活動紹介 等



子ども防災ひろば



イザ！カエルキャラバン
(防災体験プログラム)



防災腹話術



防災楽習迷路

3 交流ステージ ―震災メモリアルステージ―

阪神・淡路大震災に縁のある方々や東日本大震災支援活動を行う若者等によるステージを実施した。

時 間 10:30~15:30

場 所 H A T神戸・なぎさ公園（神戸市中央区脇浜海岸通）

内 容

- ・東日本大震災支援のための“絆”ステージ 津軽三味線演奏（県立長田高校）
- ・被災地支援ジャズ共演（ジャズトランペッター大野俊三さん、県立高砂高校ジャズバンド部）
- ・災害に備える防災クイズ（県立舞子高校環境防災科）
- ・阪神・淡路大震災追悼ステージ（歌手 森祐理さん）
- ・防災スペシャルトーク（女優 藤原紀香さん） 等

〔交流ステージプログラム〕

時間	交流ステージ内容
10:35	みーんな元気！QQ体操（ラジオ関西）
10:45	コーラス（いきいきネットワーク）
11:00	絆ステージ 津軽三味線演奏 （県立長田高校 大槻祐希未さん）
11:15	追悼ステージ（歌手 森祐理さん）
	追悼式典（11:45~12:30） 海上防災訓練（13:00~13:30）
13:30	みんなで考えよう！防災クイズ （県立舞子高校環境防災科、はばタン）
13:50	東北3県ゆるキャラ（むすび丸、そばっち、キビタン） &はばタン&七ヶ浜国際村パフォーマンスカンパニー 「NaNa5931」によるダンス共演
14:10	東日本被災地支援ジャズ （大野俊三さんと県立高砂高校ジャズバンド部）
14:40	防災スペシャルトーク（女優 藤原紀香さん）
15:00	フィナーレ 全員合唱～しあわせ運べるように～



交流ステージプログラム看板



東北3県ゆるキャラ&はばタン&
セヶ浜国際村パフォーマンスカンパニー「NaNa5931」



東日本被災地支援ジャズ
(大野俊三さんと県立高砂高校ジャズバンド部)



防災スペシャルトーク (女優 藤原紀香さん)

4 防災訓練

ひょうご安全の日の趣旨を踏まえ、メモリアルウォークやつどい参加者などを対象に、体験型防災訓練等を実施し、県民の災害対応能力の向上を図った。

時 間 13:00～15:00

場 所 HAT神戸・なぎさ公園及び南側海上（神戸市中央区脇浜海岸通）

内 容 海上での避難広報訓練・救助訓練、要救助者搬送訓練、物資搬送訓練、情報伝達訓練（大声コンテスト）、ロープワーク体験、初期消火訓練 等

参加者 600人



漂流者救出救助訓練



負傷者物資搬送訓練



巡視船「ふどう」

5 施設見学

毎年、1月17日の「ひょうご安全の日」は人と防災未来センターを無料開放としており、多くのメモリアルウォークや追悼式典参加者が来館した。(見学者7,000人)

「阪神・淡路大震災20年メモリアル特別展示（～6月28日(日)）」では、震災を知らない世代にも被災体験をわかりやすく伝えるとともに、震災後、兵庫県を中心に育まれてきた減災の取り組み等を国内外に発信し、多くの方が観覧した。



震災の記憶フロア（人と防災未来センター西館3階）



メモリアル特別展示（人と防災未来センター西館2階）



防災情報ステーション（人と防災未来センター西館2階）

6 地域のつどい

1月の減災月間を中心に、県内各地域で防災訓練やひょうご安全の日宣言の発信、住宅再建共済制度の普及啓発などを中心に、各地域の実情にあった記念行事を実施した。

「ひょうご安全の日」 阪神南地域のつどい

〈実施日時〉1月16日(金) 13:20～16:30

〈実施場所〉尼崎市立尼崎北小学校

〈参加人数〉約1,000人（児童約750人、地域住民等約250人）

〈主な実施内容〉

○地域津波防災訓練

訓練想定：平成27年1月16日午後1時20分、紀伊半島沖の海底を震源とするマグニチュード9.1の海溝型地震が発生、尼崎市において震度6弱の地震を観測し、大津波警報が発令された。

訓練内容：シェイクアウト訓練、避難誘導訓練、施設安全確認訓練、情報伝達訓練、初期消火訓練、応急手当訓練、応急給水訓練等

○防災教室 「津波から逃げよう」

津波からの水平避難、垂直避難の方法等

○フェニックス共済のPR 啓発チラシ、相談・受付コーナー

○防災力強化県民運動の啓発 啓発チラシ配布

○防災・減災の取組みの啓発

備蓄物資（アルファ化米、保存用ビスケット、保存水）、防災ネット登録啓発チラシ配布等



避難誘導訓練



防災教室「津波から逃げよう」

「ひょうご安全の日」 阪神北地域のつどい

～防災シンポジウム～

〈実施日時〉1月9日(金) 13:30～16:00

〈実施場所〉宝塚ソリオホール

〈参加人数〉約280人

〈主な実施内容〉

○防災啓発行事シンポジウム

基調講演 室崎益輝

「震災20年の検証、災害につよいまちづくり」

○パネルディスカッション

「語りつぐ震災～ひと・まち・きずな～」

コーディネーター

魚住由紀（フリーアナウンサー・防災・復興コミュニケーター）

パネリスト

榛名由梨（元宝塚歌劇団月組・花組トップスター宝塚市大使）

志方京三（元コープこうべ総合ネットワーク推進室統括部長）

西垣義雄（元兵庫県淡路県民局長、元芦屋市技監、ひょうご防災特別推進員、防災士）



シンポジウム

～防災訓練～

〈実施日時〉1月16日(金) 9:30～12:00 〈実施場所〉宝塚市末広中央公園 〈参加人数〉約700人

〈主な実施内容〉

○地域防災訓練

訓練想定：平成27年1月16日午後9時30分、宝塚市直下を震源とするマグニチュード6.9の内陸直下型地震が発生、市内全域で甚大な被害が発生、宝塚市の震度は震度6強

○フェニックス共済のPR

○防災・減災の取組みの啓発

宝塚防災リーダーの会、宝塚市ボランティアセンター、その他応急手当体験コーナー 等



幼稚園児も参加

「ひょうご安全の日」 東播磨地域のつどい

～防災訓練～

〈実施日時〉1月17日(土) 9:30～11:00 〈実施場所〉明石市立望海中学校 〈参加人数〉285人

〈主な実施内容〉

- 地域防災訓練 地域避難訓練、市の各部訓練、ブース展示・体験、訓練車両展示
(救命講習、レスキュー講習、福祉資機材・高齢者体験装具の体験、搬送訓練、段ボール間仕切り、備蓄物資展示、車椅子対応型仮設トイレ展示、ハザードマップ等パネル展示、炊き出し、車両展示、特設公衆電話展示)
- 「1.17ひょうご安全の日宣言」の発信
- フェニックス共済P R 啓発チラシ配布、相談コーナー設置



～東播磨地域減災フォーラム～

〈実施日時〉1月23日(金) 14:00～16:30 〈実施場所〉明石市生涯学習センター 〈参加人数〉208人

〈主な実施内容〉

- 防災講演会 講師) 木戸 崇之 人と防災未来センター研究調査員
演題) 「ヒナン」ってどういうこと? ～情報を生かして、その時に備える～
講師) 大石 伸雄 特定非営利活動法人 兵庫県防災士会理事長
演題) 「災害がおこったときは」
- 備蓄物資・パネル展示、段ボールベッド等の展示
- 「1.17ひょうご安全の日宣言」の発信
- フェニックス共済P R 啓発チラシ配布、相談コーナー設置



「ひょうご安全の日」 北播磨地域のつどい

～北播磨広域イベント～

〈実施日時〉1月17日(土) 10:00～13:00 〈実施場所〉兵庫県広域防災センター 〈参加人数〉140人

〈主な実施内容〉

- 「1.17ひょうご安全の日宣言」の発信
- 「防災講演会」
 - ・テーマ 「隗よりはじめよ、侮るな地域力～出来るだけ行政に頼らない地域力～」
 - ・講師 菅原康雄（仙台市宮城野区福住町内会長、総務省消防庁防災アドバイザー）
- 体験スタンプラリー
 - ・煙避難訓練、消火（消火器・腕用ポンプ）、
消防車両乗車、起震車の体験
- 炊出し訓練等
 - ・アルファ化米を使ったカレーの試食



～実践防災訓練～

〈実施日時〉1月17日(土) 8:00～12:00 〈実施場所〉三木市自由が丘中央公園 〈参加人数〉611人

〈主な実施内容〉

- 「1.17ひょうご安全の日宣言」の発信
- 地域防災訓練
 - ・山崎断層帯を震源とする地震を想定した防災訓練
（緊急災害対策本部設置訓練、避難・避難誘導訓練、炊出し訓練、初期消火訓練等）
- パネル展示
 - ・阪神・淡路大震災等のパネル展示
- フェニックス共済のPR
 - ・訓練会場に加入説明コーナーを設置



「ひょうご安全の日」 中播磨地域のつどい

～子ども防災教室～

〈実施日時〉 1月17日(土) 10:00～12:00

〈実施場所〉 姫路市飾磨区小瀬自治会館

〈参加人数〉 200人

〈主な実施内容〉

○子供向け防災教室

- ・ぼうさいゲーム（防災ダック、防災かるた）
講師：東滝弘子（ひょうご防災特別推進員）
- ・ダンボールトイレを作ってみよう
講師：八瀬一彦（中播磨防災リーダー会）

○地域防災訓練

- ・山崎断層帯を震源とする地震を想定した防災訓練
（緊急災害対策本部設置訓練、避難・避難誘導訓練、炊出し訓練、初期消火訓練等）

○パネル展示

- ・阪神・淡路大震災等のパネル展示

○フェニックス共済のP R

- ・訓練会場に加入説明コーナーを設置



「ひょうご安全の日」 西播磨地域のつどい

〈実施日時〉 1月17日(土) 14:00～16:00

〈実施場所〉 太子町立文化会館あすかホール

〈参加人数〉 450人

〈主な実施内容〉

- 「1.17ひょうご安全の日宣言」の発信
- 献唱曲「しあわせ運べるように」合唱（県立太子高等学校Jコーラス部）
- 防災活動事例発表
 - ・北之町自治会自主防災隊……地域での防災・減災活動の取組みについて発表
 - ・NPO法人兵庫県防災士会……防災士の役割、防災士会の活動について発表
- 防災講演会 講師）河野 雅晴氏（県立佐用高等学校 前校長）
 演題）災害対応を考える ～豪雨災害の体験から～
 平成21年台風9号災害での自身の被災経験と、佐用高校生の復旧・復興活動への参加・東日本大震災被災地への支援活動などについて講演。
- フェニックス共済のPR
 啓発チラシ配布、相談・受付コーナーの設置
- 災害の経験と教訓の発信
 パネル展示（阪神・淡路大震災）、西播磨地域の過去の災害（水害・山火事等）の記録写真展示
- 防災・減災の取組みの啓発
 パネル展示（総合治水の啓発、各市町の訓練等事例紹介）、模型を使った田んぼダムの実演、防災士会の活動紹介
- その他特徴 地元高校生の積極的な参加（合唱、司会、安全の日宣言）
 聴覚障害者への情報配慮のため、手話通訳、要約筆記を実施



「ひょうご安全の日」 但馬地域のつどい

〈実施日時〉 1月17日(土) 9:00～12:00

〈実施場所〉 豊岡市民プラザ

〈参加人数〉 約100人

〈主な実施内容〉

○子どもを対象としたオノマトペイベント

自然災害で起こる現象や被害を、子どもたちがイメージしやすい擬音語（オノマトペ：地震で「グラグラする」など）にして町の様子の写真パネルに付箋で書き込むことで、危険箇所を楽しくわかりやすく学習するイベントを実施。さらに、それをもとに災害対応について意見交換を行い、災害のイメージの理解だけでなく、どのように対応すればよいかについても子どもたちと一緒に学習した。

○地震水害パネルの展示

○ステッカーゲームの実施

ステッカーゲームの手法を活用し、各市町の防災意識や関心のある災害を調査。

今後の防災と減災啓発に資するデータ収集を実施した。

○フェニックス共済のPR 啓発チラシの配布、広報・受付コーナーの設置を行った。



「ひょうご安全の日」 丹波地域のつどい

〈実施日時〉 1月16日(金) 13:20～15:30

〈実施場所〉 丹波市立崇広小学校

〈参加人数〉 約600人

〈主な実施内容〉

- 児童避難訓練
教諭による災害時の連絡、誘導體制の確認、児童による避難実践
- 防災に関する講話
阪神淡路大震災の概要説明（兵庫県震災・学校支援チーム(EARTH)より）震災の備えについての学習
- 地域のつどい
献唱曲「しあわせ運べるように」合唱
児童代表による誓いのことば宣誓
- 自衛隊車両の見学等
自衛隊車両展示
災害救助の様子を記録したパネル展示、
非常用食糧展示
応急担架作成体験、骨折時応急処置法体験
- 体験型学習
水消火器を用いた放水体験、煙体験、消火実演



～防災訓練～

〈実施日時〉 1月17日(土) 8:00～14:00

〈実施場所〉 篠山市立大山小学校

〈参加人数〉 約500人

〈主な実施内容〉

- 住民避難訓練
避難情報の伝達、避難訓練、避難所開設、運営訓練
災害時要援護者避難支援訓練、孤立者救助訓練（防災ヘリ）
- 防災学習会
演題『丹波市豪雨災害からの教訓』
（丹波市防災会 金子防災士より）
- 各種展示見学
自衛隊車両、警察車両、震災時のパネル
- 体験型学習
煙体験、消火体験、土のうづくり体験、炊き出し
- フェニックス共済制度のPR
啓発資材配布、相談・受付コーナー設置



「ひょうご安全の日」 淡路地域のつどい

〈実施日時〉 1月17日(土) 8:00～14:00

〈実施場所〉 北淡震災記念公園

〈参加人数〉 約500人

〈主な実施内容〉

(5時30分～6時20分)

○灯籠流し

島内の犠牲者数（島外で亡くなった1人を含む）と同じ63本の竹灯籠に火を灯し、静かに水に浮かべる

○フェニックス合唱団による合唱

(8時00分～17分00分)

○淡路市阪神・淡路追悼式典

○「1.17ひょうご安全の日宣言」の発信

○将来へのメッセージ（淡路高校、津名高校の生徒）、合唱披露

○広域消防、淡路警察、自衛隊による防災訓練

内容：トリアージ訓練、自衛隊による炊き出し等

○親子凧作り教室

○北淡国際活動シンポジウム

○防止意識高揚のつどい（一宮地区）



7 関連事業

1 5時46分行事

阪神・淡路大震災の発生時刻である午前5時46分に、県幹部職員による震災犠牲者の追悼のための黙祷、鳴鐘及び知事訓示等を実施し、安全・安心な社会づくりを誓った。

時 間	実 施 内 容	場 所
5:40	集 合	県庁2号館13階
5:46	黙 祷	(みどり展望台)
	鳴 鐘	
6:00	知事訓辞	県庁2号館5階庁議室
6:30	解 散	



黙祷（兵庫県庁2号館13階みどり展望台）



知事訓示（兵庫県庁2号館5階庁議室）

2 兵庫芸術文化センター管弦楽団「第75回定期演奏会」ライブ中継

兵庫芸術文化センター管弦楽団「第75回定期演奏会」の映像を、兵庫県公館と西宮市民会館でライブ中継により上映し、多くの県民の方々に犠牲者の方々への追悼や震災の教訓を思い起こすためのメッセージとして発信した。

曲 目 マーラー「交響曲第2番ハ短調『復活』」

出演者 〔指揮・芸術監督〕佐渡 裕

〔ソプラノ〕並河 寿美 〔メゾ・ソプラノ〕清水華澄

〔合 唱〕ひょうごプロデュースオペラ合唱団・オープニング記念第9合唱団

〔管 弦 楽〕兵庫芸術文化センター管弦楽団

演奏会 兵庫県立芸術文化センターKOBELCOホール（17:46～）

ライブ中継 兵庫県公館大会議室、西宮市民会館アミティホール



兵庫県公館会場



大型スクリーンによるライブ中継

PAC 定演 TEIEN 75

指揮・芸術監督/佐渡 裕
Yutaka Sado, Conductor & Artistic Director

ソプラノ/並河 希美
Hisami Namikawa, Soprano

メゾソプラノ/清水 慧澄
Kasumi Shimizu, Mezzo Soprano

合唱指揮/矢澤 定明
Sachio Yazuwa, Chorus Master

合唱/兵庫プロデュースオペラ合唱団
Performing Opera Chorus, J-Opera

オープニング記念第9合唱団
Opening Banquet 9th Commemorative Chorus

実行委員/兵庫芸術文化センター管弦楽団
Performing Arts Center Orchestra

Hisami Namikawa Soprano

Yutaka Sado Conductor & Artistic Director

Kasumi Shimizu Mezzo Soprano

兵庫芸術文化センター管弦楽団 第75回定期演奏会

佐渡 裕
マーラー「復活」

マーラー交響曲 第2番 作品36「復活」
Gustav Mahler: Symphony No. 2, "Resurrection"

1/16(金)・18(日) 開演19時45分 17(土) 開演19時30分

兵庫県立芸術文化センター NOBELLO 大ホール

2018 A 4,000円 B 3,000円 C 2,000円 D 1,000円 (消費税別/税込)

10/12 10/13 10/14 10/15 10/16 10/17 10/18 10/19 10/20 10/21 10/22 10/23 10/24 10/25 10/26 10/27 10/28 10/29 10/30 10/31

兵庫芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255

【兵庫芸術文化センター】
〒650-0001 兵庫県神戸市中央区南港区山手1-1-1
TEL: 079-350-4571 FAX: 079-350-4572

案内パンフレット

【参考】

1 ひょうご安全の日のつどい参加者数

区 分	参加者数（人）
ア 1.17のつどいー阪神・淡路大震災20年追悼式典ー	6,600
（ア）兵庫県公館	（500）
（イ）HAT神戸※	（6,100）
イ 1.17メモリアルウォーク2015	5,900
（ア）一般ウォーク（スタート地点）	5,500
東15キロコース（西宮市役所）	（1,100）
東10キロコース（芦屋市川西運動場）	（1,100）
東2キロコース（王子公園）	（900）
西15キロコース（須磨海浜公園）	（600）
西10キロコース（県立文化体育館）	（500）
西5キロコース（神戸市立中央体育館）	（900）
同上 子ども（親子）ウォーク（同上）	（400）
（イ）帰宅訓練コース	400
ウ 防災訓練（展示スペースでの体験参加者除く）	600
エ ボランティア	200
合 計	13,300

※HAT神戸には、交流ひろば・ステージ等への参加者を含む

〔記帳、献花等〕

区 分	参加者数（人）
ア 記帳	940
（ア）兵庫県公館	（520）
（イ）神戸市立生田中学校	（290）
（ウ）HAT神戸	（130）
イ 献花	2,500
（ア）兵庫県公館	（700）
（イ）HAT神戸	（1,800）
（参考）人と防災未来センター来館者数（無料開放）	7,000

2 阪神・淡路大震災犠牲者追悼式典の震災1周年から20年までの取組み

		1周年	2周年
名 称		阪神・淡路大震災犠牲者追悼式	阪神・淡路大震災犠牲者追悼式
開 催 日		平成8年1月17日（水）	平成9年1月17日（金）
場 所		兵庫県公館	兵庫県公館
主 催 者		阪神・淡路大震災犠牲者 追悼式典実行委員会	阪神・淡路大震災犠牲者 追悼式典実行委員会
招 待 者 数		711名	390名
主な来賓	〔 皇 室 〕	○皇太子同妃両殿下	○秋篠宮同妃両殿下
	〔 政府代表等 〕	○内閣総理大臣、衆議院議長、最高裁判 所長官、副総理兼大蔵・文部・厚生・ 通商産業・運輸・労働・建設・外務・ 農林水産・郵政・自治大臣、防衛庁・ 国土庁阪神・淡路復興対策担当・経済 企画庁・科学技術庁長官、県選出国会 議員等	○内閣総理大臣、内閣官房長官阪神・淡 路復興対策担当、大蔵・文部・厚生・ 通商産業・運輸・労働・建設・外務・ 農林水産・郵政・自治大臣、防衛庁・ 国土庁・経済企画庁・科学技術庁・環 境庁長官、県選出国会議員等
	〔 ご遺族代表 〕	○庄 隆宏、吉田 紀美子（34名）	○村田 延子、堀 正明（20名）
	〔 外国政府代表 〕	○在関西総領事	○在関西総領事
	〔 公 共 団 体 〕	○被災市町代表、全国知事会・市長会・ 町村会・町村議会議長代表等	○被災市町代表等
	〔 一 般 〕	○五木ひろし、渡辺貞夫	○安藤忠雄、磯崎新、五木ひろし
式 次 第		・犠牲者ご芳名名簿奉呈 〔実行委員：町村会会長〕 ・開式の辞〔実行委員：県議会議長〕 ・やすらぎの音 ・黙祷 ・追悼式辞〔実行委員長：知事〕 ・追悼曲① ・追悼のおことば〔皇太子殿下〕 ・追悼の辞 〔内閣総理大臣・衆議院議長・最高裁長官〕 ・ご遺族代表のおことば ・復興の誓い〔神戸市長〕 ・追悼曲② ・献花	・犠牲者ご芳名名簿奉呈 〔実行委員：町村会会長〕 ・開式の辞〔実行委員：県議会議長〕 ・献唱曲① ・黙祷 ・追悼式辞〔実行委員長：知事〕 ・献唱曲② ・追悼のおことば〔秋篠宮殿下〕 ・追悼の辞〔内閣総理大臣・神戸市長〕 ・ご遺族代表のおことば ・献花
出 演 者 等		○やすらぎの音：藤倉名生（横笛奏者） ○追悼曲：神戸中央合唱団 曲目：①千原英喜（作・編曲） 古事記「須勢理姫によせる須 佐之男の命の歌」より抜粋 ②千原英喜（作・編曲） 年中行事秘抄「鎮魂祭歌」よ り抜粋	○献唱曲 （助）アルカディア音楽芸術振興財団 曲目：①アヴェ・ヴェルム・コルプス ②パニス・アンジェリクス
記 帳 ・ 献 花 等		・記帳所開設 ・献花は会場のみ	・記帳所開設 ・献花は会場のみ

3周年	4周年	5周年
阪神・淡路大震災犠牲者追悼式	阪神・淡路大震災犠牲者追悼式	阪神・淡路大震災犠牲者追悼式
平成10年1月17日（土）	平成11年1月17日（日）	平成12年1月17日（月）
兵庫県公館	兵庫県公館	兵庫県公館
阪神・淡路大震災犠牲者 追悼式典実行委員会	阪神・淡路大震災犠牲者 追悼式典実行委員会	阪神・淡路大震災犠牲者 追悼式典実行委員会
376名	355名	544名
○秋篠宮同妃両殿下	○秋篠宮同妃両殿下	○皇太子殿下
○内閣総理大臣、内閣官房長官阪神・淡路復興対策担当、大蔵・文部・厚生・通商産業・運輸・労働・建設・外務・農林水産・郵政・自治大臣、防衛庁・国土庁・経済企画庁・科学技術庁・環境庁長官、県選出国会議員等	○内閣総理大臣、参議院議長、内閣官房長官阪神・淡路復興対策担当、大蔵・文部・厚生・通商産業・運輸・労働・建設・外務・農林水産・郵政・自治大臣、防衛庁・国土庁・経済企画庁・科学技術庁・環境庁長官、県選出国会議員等	○内閣総理大臣、参議院議長、内閣官房長官阪神・淡路復興対策担当、大蔵・文部・厚生・通商産業・運輸・労働・建設・外務・農林水産・郵政・自治大臣、防衛庁・国土庁・経済企画庁・科学技術庁・環境庁長官、県選出国会議員等
○上田 敏子（19名）	○建沼 真利（19名）	○照本 与之子（36名）
○在関西総領事	○在関西総領事	○在関西総領事
○被災市町代表等	○被災市町代表等	○被災市町代表等
—	—	—
・犠牲者ご芳名名簿奉呈 〔実行委員：県議会議長〕 ・献花 ・序曲献唱① ・黙祷 ・追悼式辞〔実行委員長：知事〕 ・追悼のアリア ・追悼のおことば〔秋篠宮殿下〕 ・追悼の辞〔内閣総理大臣〕 ・ご遺族代表のことば ・献唱曲② ・1.17宣言〔兵庫会議代表〕 ・献唱曲③ ・献花	・献奏曲 ・犠牲者ご芳名名簿奉呈 〔実行委員：市長会会長〕 ・開式の辞 〔実行委員：県議会議長〕 ・献唱曲① ・黙祷 ・追悼式辞〔実行委員長：知事〕 ・追悼のおことば〔秋篠宮殿下〕 ・追悼の辞 〔内閣総理大臣・参議院議長〕 ・ご遺族代表のことば ・献唱曲② ・1.17宣言〔兵庫会議代表〕 ・献花	・献奏曲 ・犠牲者ご芳名名簿奉呈 〔実行委員：市長会会長〕 ・開式の辞〔実行委員：県議会議長〕 ・国歌斉唱 ・黙祷 ・追悼式辞〔実行委員長：知事〕 ・追悼のおことば〔皇太子殿下〕 ・追悼の辞 〔内閣総理大臣・参議院議長〕 ・ご遺族代表のことば ・献唱曲① ・1.17宣言 ・献唱曲② ・献花
○献唱曲 神戸少年少女合唱団コスモス 曲目：①フィンランディア ②しあわせ運べるように ③レッツ・サーチ・トゥモロー ○追悼のアリア 足立さつき（ソプラノ歌手） 曲目：アメイジング・グレイス	○献奏曲 伊藤ルミ（ピアニスト） 曲目：抒情の供物 ○献唱曲 神戸少年少女合唱団コスモス 曲目：①ふるさと ②しあわせ運べるように	○献奏曲 古部賢一（オーボエ奏者） 曲目：テレマン 「12のファンタジー」 第2番イ短調 ○献唱曲 神戸少年少女合唱団コスモス 曲目：①しあわせ運べるように ②歌よありがとう
・記帳所開設 ・献花は会場のみ	・記帳所開設 ・献花は会場のみ	・記帳所開設 ・献花は会場のみ

		6周年	7周年
名 称		1.17ひょうごメモリアルウォーク2001 (追悼のつどい)	1.17ひょうごメモリアルウォーク2002 (追悼のつどい)
開 催 日		平成13年1月17日 (水)	平成14年1月17日 (木)
場 所		山手幹線・神戸東部新都心	山手幹線・神戸東部新都心
主 催 者		1. 17ひょうごメモリアルウォーク 実行委員会	1. 17ひょうごメモリアルウォーク 実行委員会
追悼のつどい招待者数 (参加者総数)		146名 (3,800名)	138名 (5,100名)
主な来賓	〔皇 室〕	○清子内親王殿下	—
	〔政府代表等〕	○防災担当大臣、国土交通大臣 県選出国會議員、省庁関係者等	○防災担当大臣 県選出国會議員、省庁関係者等
	〔ご遺族代表〕	○國田 万紀子 (10名)	○長谷川 精子 (13名)
	〔外国政府代表〕	○在関西総領事	○在関西総領事
	〔公 共 団 体〕	○被災市町長・議長	○被災市町長・議長
式 次 第 (追悼のつどい)		・ 献奏曲 ・ 開式の言葉 [実行委員：県議会議長] ・ 黙祷 ・ 式辞 [実行委員長：知事] ・ 皇族のお言葉 [清子内親王殿下] ・ 政府代表の言葉 [防災担当大臣] ・ 遺族代表の言葉 ・ 献唱曲① ・ 1.17宣言 ・ 献花 ・ 献唱曲②	・ 献唱曲① ・ 開式の言葉 [実行委員：県議会議長] ・ 黙祷 ・ 式辞 [実行委員長：知事] ・ 政府代表の言葉 [防災担当大臣] ・ 遺族代表の言葉 ・ 献唱曲② ・ 1.17宣言 ・ 献花
出 演 者 等		○ 献奏曲 兵庫県警察音楽隊 曲目：パールギェント第1組曲より2番 パールギェント第2組曲より4番 あの日聞いた歌 (故郷～浜辺の歌～椰子の実～ 赤とんぼ) ○ 献唱曲 県立北須磨高等学校合唱部 曲目：①しあわせ運べるように ②黄色い鳥のいる風景	○ 献唱曲① 県立西宮高等学校合唱部 曲目：夕べの歌 あるこうよ ○ 献唱曲② 神戸市立なぎさ小学校 県立西宮高等学校合唱部 曲目：しあわせ運べるように
追悼のつどい以外の 主な行事		(1) 山手ふれあいロードウォーク ・ 東ルートのみ3コース (2) 記念植樹 (コブシ・私立西灘幼稚園児) (3) 会場展示等	(1) 山手ふれあいロードウォーク ・ 東西2ルート5コース (2) 防災訓練 ・ 場所 湊川多聞小学校 神大医学部附属病院南側市道約300m (3) 会場展示等
記 帳 ・ 献 花 等		・ 記帳所開設 ・ 献花はつどい会場のみ	・ 記帳所開設 ・ 献花はつどい会場のみ

8周年	9周年
1.17ひょうごメモリアルウォーク2003 ／未来へひらく (追悼のつどい)	1.17ひょうごメモリアルウォーク2004 －復興の歩みを確かめる－ (追悼のつどい)
平成15年1月17日（金）	平成16年1月17日（土）
山手幹線・神戸東部新都心	山手幹線・神戸東部新都心
1. 17ひょうごメモリアルウォーク 実行委員会	1. 17ひょうごメモリアルウォーク 実行委員会
131名 (5,000名)	148名 (5,300名)
－	－
○防災担当大臣 県選出国會議員、省庁関係者等	○防災担当大臣 県選出国會議員、省庁関係者等
○米津 勝之（17名）	○高井 千珠（16名）
○在関西総領事	○在関西総領事
○被災市町長・議長	○被災市町長・議長
・ 献奏曲 ・ 開式の言葉〔実行委員：県議会議長〕 ・ 黙祷 ・ 式辞〔実行委員長：知事〕 ・ 政府代表の言葉〔防災担当大臣〕 ・ 遺族代表の言葉 ・ 献唱曲 ・ 1.17宣言 ・ 献花	・ 献唱曲① ・ 開式の言葉〔実行委員：県議会議長〕 ・ 黙祷 ・ 式辞〔実行委員長：知事〕 ・ 政府代表の言葉〔防災担当大臣〕 ・ 遺族代表の言葉 ・ 献唱曲② ・ 1.17宣言 ・ 献花
○献奏曲 県立神戸高等学校吹奏楽部 曲目：ソルヴォークの歌 トロイメライ ○献唱曲 神戸市立なぎさ小学校 曲目：しあわせ運べるように	○献唱曲① 武庫川女子大学附属高等学校コーラス部 曲目：星に願いを 大空と大地の中で ○献唱曲② 神戸市立なぎさ小学校 武庫川女子大学附属高等学校コーラス部 曲目：しあわせ運べるように
(1) 山手ふれあいロードウォーク ・ 東西2ルート5コース (2) 防災訓練 ・ 場所 神戸市立渚中学校 人と防災未来センター北側路上 (3) 会場展示等	(1) 山手ふれあいロードウォーク ・ 東西2ルート5コース (2) 防災訓練 ・ 場所 人と防災未来センター北側路上 (3) 会場展示等
・ 記帳所開設 ・ 献花はつどい会場のみ	・ 記帳所開設 ・ 献花はつどい会場のみ

		10周年	
名 称		阪神・淡路大震災10周年のつどい	
		(阪神・淡路大震災10周年追悼式典) (公館会場／HAT神戸会場)	(1.17ひょうごメモリアルウォーク 2005)
開 催 日		平成17年1月17日 (月)	
場 所		兵庫県公館／人と防災未来センター	山手幹線・神戸東部新都心
主 催 者		阪神・淡路大震災10周年追悼式典委員会	1. 17ひょうごメモリアルウォーク 実行委員会
追悼のつどい参加者数 (参加者総数)		公館会場 (招待者のみ) 406名 HAT神戸会場 1,550名 (うち招待者 200名)	4,150名 (6,100名)
主な来賓	【皇 室】	○天皇皇后両陛下	—
	【政府代表等】	○防災担当大臣ほか 県選出国會議員、省庁関係者等	
	【ご遺族代表】	○村松 京子 (19名)	
	【外国政府代表】	○在関西総領事	
	【公共団体等】	○被災市町長・議長、県関係団体代表等 ○被災地以外市町長・議長、近畿国関係機関 震災関連有識者、県幹部等	
式 次 第 (追悼のつどい)		・献奏曲 [指揮 佐渡裕] ・追悼の灯り [遺族代表] ・開式の辞 [式典委員会委員：県議会議長] ・黙祷 ・式辞 [式典委員長：知事] ・おことば [天皇陛下] ・ご来賓のおことば [防災担当大臣] ・献唱曲① [指揮 佐渡裕] ・1.17宣言 ・献唱曲② [指揮 佐渡裕] ・献花 (HAT神戸会場では公館会場の映像を同時中継)	—
出 演 者 等		○献奏曲 指揮：佐渡裕 演奏：1.17メモリアル特別編成オーケ ストラ 曲目：G線上のアリア ○献唱曲① 指揮：佐渡裕 合唱：西宮少年合唱団、神戸市立なぎ さ小学校、マリスタ国際学校 曲目：しあわせ運べるように ○献唱曲② 指揮：佐渡裕 合唱：西宮少年合唱団 曲目：アヴェ・ヴェルム・コルプス (HAT神戸会場では公館会場の映像を同時中継)	—
追悼のつどい以外の 主な行事		○集灯式 (神戸市立中央体育館) 天皇皇后両陛下ご臨席	(1) 山手ふれあいロードウォーク ・東西2ルート5コース、6出発会場 (2) 防災訓練 ・場所 なぎさ公園北側道路ほか (3) 交流ひろば (会場展示) (4) ふれあい元気アップステージ 高石ともやほか (5) メモリアルスクエア 小曾根実 TUBEほか
記 帳 ・ 献 花 等		・記帳所開設 ・一般献花 (式典終了後)	—

		11周年	12周年
名 称		ひょうご安全の日のつどい 1.17ひょうごメモリアルウォーク2006	ひょうご安全の日のつどい 1.17ひょうごメモリアルウォーク2007
開 催 日		平成18年1月17日（火）	平成19年1月17日（水）
場 所		山手幹線・神戸東部新都心	山手幹線・神戸東部新都心
主 催 者		ひょうご安全の日推進県民会議	ひょうご安全の日推進県民会議
追悼のつどい参加者数 （参加者総数）		1,500名 （4,800名）	1,500名 （4,900名）
主な来賓	〔皇 室〕	—	—
	〔来賓代表等〕	○防災担当大臣 （代理 内閣府統括参事官） 県選出国會議員、省庁関係者等	○国土交通大臣 防災担当大臣 （代理 内閣府参事官） 県選出国會議員、省庁関係者等
	〔ご遺族代表〕	—	—
	〔県民代表〕	○新成人（西宮市） ○県立舞子高校生徒	○新成人（宝塚市）
	〔外国政府代表〕	○在関西総領事	○在関西総領事
	〔公共団体等〕	○県内市町長 ○県民会議構成団体代表	○県内市町長 ○県民会議構成団体代表
式 次 第 （追悼のつどい）		・開式あいさつ〔副会長：県議会議長〕 ・黙祷、カリヨンの鐘 ・主催者代表あいさつ〔会長：知事〕 ・ご来賓あいさつ 〔防災担当大臣（代読）〕 ・県民のことば〔新成人〕 ・献唱歌〔なぎさ小学校〕 ・誓いのことば 〔県立舞子高等学校生徒〕 ・1.17ひょうご安全の日宣言 〔河田企画委員長〕 ・献花	・開式あいさつ〔副会長：県議会議長〕 ・黙祷、カリヨンの鐘 ・主催者代表あいさつ〔会長：知事〕 ・ご来賓あいさつ 〔冬柴国土交通大臣、防災担当大臣 代読〕〕 ・県民のことば〔新成人〕 ・献唱歌〔なぎさ小学校〕 ・1.17ひょうご安全の日宣言 〔河田企画委員長〕 ・献花
出 演 者 等		○献曲 神戸市立なぎさ小学校 曲目：しあわせ運べるように	○献曲 神戸市立なぎさ小学校 指揮：佐渡 裕 曲目：しあわせ運べるように
追悼のつどい以外の 主な行事		(1) 山手ふれあいロードウォーク ・東西2ルート4コース、自主計画コース (2) 防災訓練 ・場所 なぎさ公園北側道路ほか (3) 交流ステージ 高石ともや、天才チンパンジー ばん君とジェームス ほか	(1) 山手ふれあいロードウォーク ・東西2ルート5コース、帰宅訓練コース (2) 防災訓練 ・場所 なぎさ公園北側道路ほか (3) 交流ステージ 高石ともやほか
記 帳 ・ 献 花 等		・献花はつどい会場のみ	・献花はつどい会場のみ

		13周年	14周年
名 称		ひょうご安全の日のつどい (1.17ひょうごメモリアルウォーク2008) (ひょうご安全の日1.17のつどい)	ひょうご安全の日のつどい (1.17ひょうごメモリアルウォーク2009) (ひょうご安全の日1.17のつどい)
開 催 日		平成20年1月17日 (木)	平成21年1月17日 (土)
場 所		山手幹線・神戸東部新都心	山手幹線・神戸東部新都心
主 催 者		ひょうご安全の日推進県民会議	ひょうご安全の日推進県民会議
追悼のつどい参加者数 (参加者総数)		1,500名 (4,900名)	1,800名 (6,000名)
主な来賓	[皇 室]	—	—
	[来賓代表等]	○国土交通大臣 防災担当大臣 (代理 内閣府参事官) 県選出国會議員、省庁関係者等	○防災担当大臣 県選出国會議員、省庁関係者等
	[ご遺族代表]	—	—
	[県民代表]	○新成人 (淡路市)	○新成人 (明石市)
	[外国政府代表]	○在関西総領事	○在関西総領事
	[公共団体等]	○県内市町長 ○県民会議構成団体代表	○県内市町長 ○県民会議構成団体代表
式 次 第 (追悼のつどい)		・ 献奏曲 (県立西宮高等学校) ・ 開式あいさつ [副会長：県議会議長] ・ 黙祷、カリヨンの鐘 ・ 主催者代表あいさつ [会長：知事] ・ ご来賓あいさつ [冬柴国土交通大臣、防災担当大臣 (代説)] ・ 県民のこぼれ [新成人] ・ 献唱曲 ・ 1.17ひょうご安全の日宣言 [河田企画委員長] ・ 献花	・ 献奏曲 (県立西宮高等学校) ・ 開式あいさつ [副会長：県議会議長] ・ 黙祷、カリヨンの鐘 ・ 主催者代表あいさつ [会長：知事] ・ ご来賓あいさつ [佐藤防災担当大臣] ・ 県民のこぼれ [新成人] ・ 献唱曲 [なぎさ小学校] ・ 1.17ひょうご安全の日宣言 [河田企画委員長] ・ 献花
出 演 者 等		○ 献奏曲 県立西宮高等学校音楽科 曲目：マスカー作曲 歌劇「カヴェレリア ルスティカーナ」より間奏曲 ○ 献唱曲 神戸市立なぎさ小学校 曲目：しあわせ運べるように	○ 献奏曲 県立西宮高等学校音楽科 曲目：ジョン・ラター作曲、 倉橋日出夫編曲、 マニフィカートよりエスリエンテス ○ 献唱曲 神戸市立なぎさ小学校 曲目：しあわせ運べるように
追悼のつどい以外の 主な行事		(1) 山手ふれあいロードウォーク ・ 東西2ルート5コース、帰宅訓練コース ・ ルート上の防災訓練 (都賀川公園) (2) 防災訓練 ・ 場所 なぎさ公園北側道路ほか (3) 交流ステージ 高石ともやほか	(1) 山手ふれあいロードウォーク ・ 東西2ルート5コース、帰宅訓練コース ・ ルート上の防災訓練 (都賀川公園) (2) 防災訓練 ・ 場所 なぎさ公園北側道路ほか (3) 交流ステージ 高石ともやほか
記 帳 ・ 献 花 等		・ 献花はつどい会場のみ	・ 献花はつどい会場のみ

			15周年
			ひょうご安全の日のつどい
名 称	1.17のつどい ー阪神・淡路大震災15周年追悼式典ー (公館会場／HAT神戸会場)		1.17ひょうごメモリアルウォーク2010 交流ひろば・交流ステージ 防災訓練
開 催 日	平成22年1月17日(日)		
場 所	兵庫県公館／人と防災未来センター		山手幹線・神戸東部新都心
主 催 者	ひょうご安全の日推進県民会議		
参 加 者 数	公館会場(招待者のみ) 400名 HAT神戸会場 6,200名 (うち招待者120名)		(1)メモリアルウォーク 6,000名 (2)交流ひろば・交流ステージ 11,000名 (3)防災訓練 100名
	合計 6,600名		合計 17,100名
主な来賓	[皇 室]	○皇太子同妃両殿下	
	[来賓代表等]	○内閣総理大臣、防災担当大臣、衆参両議院議長、 最高裁判所長官、県選出国會議員、省庁関係者等	
	[ご遺族代表]	○松浦 潔(11名)	
	[県民代表]	○新成人(神戸市)	
	[外国政府代表]	○在関西総領事	
	[公共団体等]	○被災市町長・議長、県関係団体代表等 ○県民会議構成団体代表 ○被災地以外市町長・議長、近畿国関係機関、 震災関連有識者、HAT神戸国際関係機構等	
式 次 第 (1.17のつどい)			—
出 演 者 等			—
1.17のつどい以外の 主な行事			(1)1.17ひょうごメモリアルウォーク2010 ・東西2ルート6コース ・「未来へつなぐ」コーナー(各休憩所) (2)交流ひろば 展示・体験ブース、炊き出し ほか (3)交流ステージ 紙ふうせん ほか (4)防災訓練 ・防災関係機関による訓練、県民参加型訓練
記 帳 ・ 献 花 等			—

		16周年	17周年
名 称		ひょうご安全の日のつどい 1.17ひょうごメモリアルウォーク2011	ひょうご安全の日のつどい 1.17ひょうごメモリアルウォーク2012
開 催 日		平成23年1月17日（月）	平成24年1月17日（火）
場 所		山手幹線・神戸東部新都心	山手幹線・神戸東部新都心
主 催 者		ひょうご安全の日推進県民会議	ひょうご安全の日推進県民会議
1.17のつどい参加者数 ウォーク参加者数		2,000名 3,200名	2,000名 3,200名
主な来賓	〔皇 室〕	—	—
	〔来賓代表等〕	○防災担当大臣 県選出国會議員、省庁関係者等	○防災担当大臣、総務副大臣 県選出国會議員、省庁関係者等
	〔ご遺族代表〕	—	—
	〔県民代表〕	○新成人（芦屋市）	○新成人（伊丹市）
	〔外国政府代表〕	○在関西総領事	○在関西総領事
	〔公共団体等〕	○県内市町長	○県内市町長
	〔県民会議〕	○県民会議構成団体代表	○県民会議構成団体代表
式 次 第 （追悼のつどい）		・献奏曲（県立西宮高等学校） ・開会のことば〔副会長：県議会議長〕 ・黙祷、カリヨンの鐘 ・主催者代表挨拶〔会長：知事〕 ・ご来賓挨拶〔（司会代読）〕 ・県民のことば〔新成人〕 ・献唱曲〔なぎさ小学校〕 ・1.17ひょうご安全の日宣言〔河田企画委員長〕 ・献花	・献奏曲（県立西宮高等学校） ・開会のことば〔副会長：県議会議長〕 ・黙祷、カリヨンの鐘 ・主催者代表挨拶〔会長：知事〕 ・ご来賓挨拶〔平野防災担当大臣〕 ・県民のことば〔新成人〕 ・献唱曲〔なぎさ小学校〕 ・1.17ひょうご安全の日宣言〔河田企画委員長〕 ・献花
出 演 者 等		○献奏曲 県立西宮高等学校音楽科 曲目：ジョン・ラター作曲、 倉橋日出夫編曲 マニフィカートよりエスリエン テス ○献唱曲 神戸市立なぎさ小学校 曲目：しあわせ運べるように	○献奏曲 県立西宮高等学校音楽科 曲目：ジョン・ラター作曲、 倉橋日出夫編曲 マニフィカートよりエスリエン テス ○献唱曲 神戸市立なぎさ小学校 曲目：しあわせ運べるように
追悼のつどい以外の 主な行事		(1) 1.17ひょうごメモリアルウォーク2011 ・東西2ルート6コース、帰宅訓練コース (2) 交流ひろば ・室内安全横丁等展示・体験ブース、炊き出し ほか (3) 交流ステージ 高石ともや、奥野勝利 ほか (4) 防災訓練 災害時要援護者誘導訓練 ほか	(1) 1.17ひょうごメモリアルウォーク2012 ・東西2ルート6コース、帰宅訓練コース (2) 交流ひろば ・東日本大震災被災地支援等展示・体験ブース、炊き出し ほか (3) 交流ステージ 山本シュウ、川嶋あい ほか (4) 防災訓練 災害時要援護者誘導訓練 ほか
記 帳 ・ 献 花 等		・献花はつどい会場のみ	・献花はつどい会場のみ

18周年	19周年
ひょうご安全の日のつどい 1.17ひょうごメモリアルウォーク2013	ひょうご安全の日のつどい 1.17ひょうごメモリアルウォーク2014
平成25年1月17日（木）	平成26年1月17日（金）
山手幹線・神戸東部新都心	山手幹線・神戸東部新都心
ひょうご安全の日推進県民会議	ひょうご安全の日推進県民会議
2,000名 3,200名	2,000名 3,100名
—	—
○防災担当副大臣、総務消防庁審議官、 県選出国會議員、省庁関係者等	○内閣府審議官、総務消防課長、 県選出国會議員、省庁関係者等
—	—
○新成人（淡路市）	○新成人（明石市）
○在関西総領事	○在関西総領事
○県内市町長	○県内市町長
○県民会議構成団体代表	○県民会議構成団体代表
・献奏曲（県立西宮高等学校） ・開会のことば〔副会長：県議会議長〕 ・黙祷、カリヨンの鐘 ・主催者代表挨拶〔会長：知事〕 ・ご来賓挨拶〔西村防災担当副大臣〕 ・県民のことば〔新成人〕 ・献唱曲〔なぎさ小学校〕 ・1.17ひょうご安全の日宣言 〔河田企画委員長〕 ・献花	・献奏曲（県立西宮高等学校） ・開会のことば〔副会長：県議会議長〕 ・黙祷、カリヨンの鐘 ・主催者代表挨拶〔会長：知事〕 ・ご来賓挨拶〔内閣府審議官〕 ・県民のことば〔新成人〕 ・献唱曲〔なぎさ小学校〕 ・1.17ひょうご安全の日宣言 〔河田企画委員長〕 ・献花
○献奏曲 県立西宮高等学校音楽科 曲目：ジョン・ラター作曲、 倉橋日出夫編曲 マニフィカートよりエスリエン テス	○献奏曲 県立西宮高等学校音楽科 曲目：ジョン・ラター作曲、 倉橋日出夫編曲 マニフィカートよりエスリエン テス
○献唱曲 神戸市立なぎさ小学校 曲目：しあわせ運べるように	○献唱曲 神戸市立なぎさ小学校 曲目：しあわせ運べるように
(1) 1.17ひょうごメモリアルウォーク2013 ・東西2ルート6コース、帰宅訓練コース (2) 交流ひろば ・東日本大震災被災地支援等展示・体験 ブース、炊き出し ほか (3) 交流ステージ 田口壮、川嶋あい ほか (4) 防災訓練 災害時要援護者誘導訓練 ほか	(1) 1.17ひょうごメモリアルウォーク2014 ・東西2ルート6コース、帰宅訓練コース (2) 交流ひろば ・東日本大震災被災地支援等展示・体験 ブース、炊き出し ほか (3) 交流ステージ 川嶋あい ほか (4) 防災訓練 災害時要援護者誘導訓練 ほか
・献花はつどい会場のみ	・献花はつどい会場のみ

20年		
ひょうご安全の日のつどい		
名 称	1.17のつどい ー阪神・淡路大震災20年追悼式典ー (公館会場／HAT神戸会場)	1.17ひょうごメモリアルウォーク2015
開 催 日	平成27年1月17日(土)	
場 所	兵庫県公館／人と防災未来センター	山手幹線・神戸東部新都心
主 催 者	ひょうご安全の日推進県民会議	
参 加 者 数	公館会場(招待者のみ) 500名 HAT神戸会場 6,100名 (うち招待者200名)	メモリアルウォーク 5,900名 防災訓練など 800名
	合計13,300名	
主な来賓	[皇 室]	○天皇皇后両陛下
	[来賓代表等]	○防災担当大臣、衆参両議院議長、最高裁判所長官、県選出国會議員、省庁関係者等 ○省庁関係者(近畿地区関係機関)、自衛隊兵庫地方協力本部長、復興フォローアップ委員等
	[ご遺族代表]	○小河昌江さん(10名)
	[県民代表]	○震災子どもメッセージ ひょうご安全の日推進県民会議 会長賞受賞者(小・中・高校生)
	[外国政府代表]	○国連事務総長特別代表、在関西総領事等
	[公共団体等]	○被災市町長・議長、県関係団体代表等 ○被災地以外市町長・議長、近畿国関係機関、震災関連有識者、HAT神戸国際関係機構等
	[県民会議]	○県民会議構成団体代表
式 次 第 (1.17のつどい)		・追悼の灯り[新成人代表] ・献奏曲[指揮 佐渡裕芸術監督] ・開式の辞[副会長：県議会議長] ・国歌斉唱 ・黙祷 ・式辞[会長：知事] ・ご来賓のことば[山谷防災担当大臣] ・ご遺族代表のことば[遺族代表] ・献唱曲①[指揮 佐渡裕] ・県民のことば[新成人代表] ・1.17ひょうご安全の日宣言[河田企画委員長] ・献唱曲②[指揮 佐渡裕芸術監督] (HAT神戸会場では公館会場の映像を同時中継)
出 演 者 等		○献奏曲 指揮：佐渡裕芸術監督 演奏：芸術文化センター管弦楽団 曲目：G線上のアリア ○献唱曲① 指揮：佐渡裕芸術監督 合唱：桂木小学校 曲目：しあわせ運べるように (HAT神戸会場では公館会場の中継映像と同時に合唱 合唱：神戸市立なぎさ小学校、宮城県七ヶ浜町3小学校) ○献唱曲② 指揮：佐渡裕芸術監督 合唱：神戸市混声合唱団 曲目：アヴェ・ヴェルム・コルプス
1.17のつどい以外の 主な行事		(1) 1.17ひょうごメモリアルウォーク2015 ・東西2ルート6コース (2) 交流ひろば・交流ステージ ・防災啓発展示、炊き出し、パフォーマンス等 (3) 子ども防災ひろば ・防災体験・ゲーム、防災授業、防災人形劇等 (4) 防災訓練 ・防災関係機関による訓練、県民参加型訓練
記 帳 ・ 献 花 等		・記帳所開設、献花